

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00167)

事務事業名称 健康長寿モニター事業			款 04	項 01	目 02	事業 038	整理番号 173			
現担当課名 保健福祉部管理課		係名 庶務係(計画調整担当)			連絡先電話番号 1344	昨年度整理番号 167				
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成24年度								
	平成26年度担当課名	保健福祉部管理課			事業評価区分	一般				
	対象	平成24年4月1日現在で80歳の区民		根拠法令等 (1) (2)	杉並区健康長寿モニター事業実施要綱 杉並区健康長寿モニター事業運営委員会設置要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢期の生活習慣や社会活動、環境等が、その後の個人の健康長寿にどのように寄与しているかについて、平成24年4月1日現在で80歳の区民を対象に5年間縦断的に調査し、これを検証し、今後の効果的な健康長寿施策推進の基礎資料とする。(区制施行80周年記念事業)		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	健康長寿モニター人数 医療・介護蓄積データ数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	平成24年4月1日80歳の区民を健康長寿モニターとし、5年間継続調査し、生活習慣等の健康長寿への影響を検証 介護・医療データの収集・蓄積 アンケート調査等の実施 モニターへの健康情報等の提供 杉並区健康長寿モニター事業運営委員会の運営		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	介護保険新規認定者平均年齢					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	3,749	3,561	3,638	3,468	3,468	3,291	100.0	
	活動指標(2)	2 項目	0	12	39	44	45	45	102.3	
	成果指標(1)	3 歳	80.4	80.8	80.7	81.1	80.6	80.7	99.4	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	5,591	2,251	1,945	2,612	1,740	2,410	平成26年度 予算執行率(%) 66.6	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の理由 運営委員の意見をメール聴取したことなどにより、委員会の開催数が減となり謝礼金が残となりました。	
	(内)委託費	7 千円	2,080	721	643	1,117	810	1,108		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.10	1.20	1.24	1.00	0.89		0.90
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	9,570	10,356	10,701	8,810	7,841		7,929
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	15,161	12,607	12,646	11,422	9,581	10,339		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	4,044	3,540	3,476	3,294	2,763	3,142		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	5,591	2,251	1,945	2,612	2,612		1,205
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	5,591	2,251	1,945	2,612	2,612	1,205		
差引:一般財源 (14-20)		21 千円	9,570	10,356	10,701	8,810	6,969	9,134		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	173
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		健康長寿モニター事業運営委員会開催			
		モニター限定情報紙発行・アンケート実施	2	回	1,076
		バースデーカード配布	12	回	438
		歯科医院調査	1	回	111
		その他(消耗品ほか)			30
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>モニターの健康感や生活状況を継続したデータとするため、昨年度と同設問のアンケート調査及び歯科医院調査を実施した。また、個人情報同意者の医療・介護データの蓄積を行いました。さらに、より多くのデータを用いて分析ができるよう、アンケート等の回答率向上のため、モニター限定情報紙の発行(2回)やバースデーカードを配布しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成24年度に、区制施行80周年記念事業として、平成24年4月1日に80歳の区民をモニターとし、当該事業を開始しました。初年度である平成24年度は、事業開始時のモニターの生活状況や健康状態を把握するための調査を行い、報告書を平成25年度に発行しました。平成25年度からは、アンケート調査、歯科医院調査を実施しています。モニターのアンケート等への協力を促すため、24・25年度は運動機能測定会を開催し、平成25年度からはモニター限定情報紙、平成26年度からはバースデーカードを配布しています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>バースデーカードの配布に対して、「元気が出た」「これからも趣味の活動をがんばる」などのコメントとともに、お礼の手紙、電話が多数ありました。モニターから「入院等でアンケートへの回答が困難なため、モニターを辞退したい」といった申し出がありました。</p>			
	今後の予測	<p>平成31年度に、最終分析結果をまとめる予定です。モニターの協力を促してはいますが、高齢化による身体機能の低下などにより、アンケート回答率の低下が懸念されます。</p>			
評価と課題		<p>今後も、医療・介護データやアンケート結果などのデータの蓄積を進めていきます。データ蓄積の完了後は、専門家の協力を得ながら、健康長寿を維持する要因・阻害する要因を分析し、区健康長寿施策に活かしていきます。また、より多くのデータを蓄積するためには、モニターの協力が欠かすことはできません。平成26年度は、モニター限定情報紙に加え、誕生日にバースデーカードを送り、日頃の協力へ感謝の意を示しました。こうしたことにより、アンケート調査回答率は、平成25年度を上回り62%となりました。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方		<p>より多くのデータを蓄積するため、引き続き、情報紙の発行などにより、モニターへの協力を促していきます。全データの蓄積完了までの間は、健康長寿施策に有効に活かすことができる分析結果となるよう、データ分析の試行を行っていきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00312)

事務事業名称		衛生統計調査			款	04	項	05	目	01	事業	004	整理番号	330	
現担当課名		健康推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	312			
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成26年度担当課名	地域保健課										事業評価区分	一般		
	対象	区民、調査対象者、事象別対象者			根拠法令等	(1)		統計法							
						(2)		統計報告調整法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等広く反映させる。			活動指標	指標名(1)		実施調査数							
				指標説明			今年度、厚生労働省から委託された統計調査の実施数を代替指数として用いました。								
				指標名(2)											
				指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。人口動態調査の調査票に基づき、杉並区の人口に関する統計資料を作成する。			成果指標	指標名(1)		調査件数								
				指標説明			厚生労働省から委託された統計調査件数								
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 件	7	5	5	9	8	6	88.9						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 件	20,150	14,500	14,833	25,200	26,292	14,500	104.3						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	1,556	2,084	1,179	2,783	1,779	1,867	平成26年度予算執行率(%)	63.9					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	196	297	46	750	479	298	調査は、厚生労働省より指示ある内容について実施します。調査対象世帯数を予測して事業費を見込みましたが、国が調査対象世帯を抽出指定するため、本年度は予測値を下回りました。そのため予算執行率が低くなっています。						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.32	0.30	0.33	0.30	0.33	0.30						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,784	2,589	2,848	2,643	2,907	2,643						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	550	556	556	566	566	566						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	4,890	5,229	4,583	5,992	5,252	5,076							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	698,571	1,045,800	916,600	665,778	656,500	846,000							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	352	1,013	330	1,087	685	1,089						
		都からの補助金等	18 千円	1,200	1,063	848	1,686	1,093	778						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,552	2,076	1,178	2,773	1,778	1,867							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	3,338	3,153	3,405	3,219	3,474	3,209							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	330	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		国民生活基礎調査		371	世帯	312
		国民健康・栄養調査		24	人	686
		社会保障・人口問題基本調査		45	世帯	34
		人口動態調査		14,356	件	9
	その他（医療施設調査 ほか）					738
(2) 事業実績	8種の統計調査を実施しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢化、出生率の低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等により地域保健を取り巻く環境は大きく変化しています。一方で、国民の健康に対する幅広いニーズや生活実態の多様化を把握できるよう、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	情報提供自体に拒否感があり、調査に協力したくないという声を多数いただいています。また、現在の社会状況の中、信頼できる機関からの調査か判断する迄が不安とのご意見をいただきました。				
	今後の予測	個人情報に対する意識の高まりやライフスタイルの多様化による日中不在世帯の増加など、調査環境は今後ますます厳しくなっていくと思われれます。こうしたことから、調査方法の見直しがさらに進められていくものと思われれます。				
	評価と課題	個人情報に対する意識の高まりなどにより調査拒否世帯が増え、統計調査を円滑に実施することが年々困難になっています。調査内容や方法は国が決めますが、調査員による対面方式以外に郵送回収やインターネット調査の導入など、区民の実情に合わせた調査となるよう、都や国に要望していきます。また、調査員の高齢化や担い手の少ない状況が今後も続いていくことが予想され、調査事務の民間委託について検討していく必要があります。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	調査環境が年々厳しくなる中で、円滑に調査を実施するためには、統計調査に対する理解と協力が必要です。調査員が区民に対して今まで以上に丁寧に解りやすく説明ができるよう、調査員向けの説明会などを充実させていきます。また、調査票の回収率の向上など精度の高い統計調査にしていくために、調査の目的や調査結果の活用方法について、周知に努めるとともに調査方法の見直し（インターネットを利用した提出方法など）や調査事務の民間委託など都や国に要望していきます。					

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00313）

事務事業名称		各種保健事業推進活動			款	04	項	05	目	01	事業	005	整理番号	331		
現担当課名		健康推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	313				
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度														
	平成26年度担当課名	地域保健課			事業評価区分	一般										
	対象	区民、保健所関係団体等			根拠法令等	(1)		安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律								
						(2)		自殺対策基本法								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民の保健に対する意識を高め、関係団体の保健活動をさらに積極的なものとするを目的とする。			活動指標	指標名（1）		区内献血者数								
					指標名（2）		平成26年度までの指標。平成27年度より健康づくり推進活動事業の中で実施します。 庁内献血者数（イベント等も含む）									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	自殺者の減少を目指して、自殺予防の普及啓発、相談窓口の対応力強化を進める。関係団体と協力して、献血、薬物乱用防止、骨髄バンクドナー登録などの活動を行う。			指標説明			平成26年度までの指標。平成27年度より健康づくり推進活動事業の中で実施します。									
				成果指標	指標名（1）		自殺予防シンポジウム等参加者数									
					指標名（2）		自殺者数の19年比削減率									
					指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	人	1,205	5,000	1,285	5,000	1,249	0	25.0						
	活動指標（2）	2	人	154	250	153	250	148	0	59.2						
	成果指標（1）	3	人	1,427	1,000	1,240	1,000	1,350	0	135.0						
	成果指標（2）	4	%	8.8	25.0	13.2	25.0	13.2	0.0	52.8						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	7,594	8,303	7,786	8,874	7,562	0	平成26年度予算執行率（%）	85.2					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	555	365	325	409	323	0	健康づくり推進活動事業と統合し、健康づくり推進の視点で事業を行っていきます。						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.91	2.10	2.61	2.20	2.07	0.00						
		再任用職員数	9	人	0.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,617	18,123	22,524	19,382	18,237	0						
		再任用職員分	12	千円	2,437	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	1,100	1,112	1,112	1,132	1,132	0						
	総事業費	14	千円	27,748	27,538	31,422	29,388	26,931	0							
	単位あたりコスト	15	円	23,027	5,508	24,453	5,878	21,562	0							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	1,310	0	1,614	0	1,294	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	1,310	0	1,614	0	1,294	0							
差引：一般財源		21	千円	26,438	27,538	29,808	29,388	25,637	0							
受益者負担比率		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	331	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		杉並区自殺予防月間（春・秋）		2	回	1,294
献血及び骨髄バンクドナー登録推進活動等		3	回	62		
区民健康保持事業等補助金		5	団体	5,106		
その他（薬物乱用防止推進活動ほか）					1,100	
事業環境の変化	(2) 事業実績	5月と9月の杉並区自殺予防月間には、自殺対策講演会などの事業に取り組むとともに、相談事業を強化し、区内の自殺者数の減少に努めました。また、薬物乱用防止や熱中症対策などの取組を推進し、医師会等による健康保持事業や日本赤十字社の献血及び骨髄バンクドナー登録事業を支援しました。				
		<p>医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助については、適宜見直しを行い、適正化に努めています。危険ドラッグの使用による薬物事犯が急増している中、薬物乱用防止の普及活動は重要さを増しています。杉並区の自殺者は毎年100人を超えていましたが、21年には93人と100人を切ることができました。しかし、22年以降24年まで、再び100人を超えてしまいました。25年と26年は99人と100人を切っています。</p> <p>少子高齢化の進展や健康志向の増加を背景に、区民の保健事業に対する関心は高まっています。自殺を個人の問題ではなく、重大な社会問題として捉える考え方が広がり、区民の自殺対策事業に関する期待や関心にも高まりがみられます。</p> <p>区民の健康を守るためには、関係団体との連携をより強化し、予防啓発事業を効果的に行う必要があります。自殺対策事業と薬物乱用防止事業は専門部門に事業を移管して、より効果的な事業展開を行っていきます。</p>				
事業環境の変化	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題		自殺対策については普及啓発事業や、ゲートキーパー養成研修などを実施しました。これらは一定の効果を上げていると考えますが、区内の自殺者数は依然として年間100人前後で推移しており、今後も継続して取り組んでいく必要があります。また、骨髄バンクドナー登録、薬物乱用防止、熱中症対策の取組や、医師会等による健康保持事業、日本赤十字社の献血事業の支援等を一層推進するため、より効果的な普及啓発方法を検討・具体化していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方		区民の健康意識を高めるために、区民や関係団体との連携を今まで以上に進め、地域の団体等の活動を支援していきます。区民への情報提供や普及啓発を推進するために、インターネット等の活用に取り組みます。区民に対して各種事業の普及啓発をさらに推進するため、区内で活動する自主グループやNPO法人等とも幅広く連携して事業を進めていきます。自殺対策はうつ病対策等の精神保健対策部門に、また薬物乱用防止推進事業は、薬事衛生部門に事業移管し、専門性を発揮しつつ、関係機関と連携し効率的な啓発活動を行います。保健に関する事業は短期間で成果を挙げることは難しいため、長期的な観点でより効果的な事業展開を図ります。				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00318)

事務事業名称 住民参画の健康なまちづくり			款 04	項 05	目 01	事業 013	整理番号 336			
現担当課名 健康推進課		係名 健康推進係		連絡先電話番号 4528		昨年度整理番号 318				
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成 9年度		実行計画事業 目標 04 施策 12		計画事業 05						
平成26年度担当課名 健康推進課						事業評価区分 一般				
対象		健康に関心を持ち健康なまちづくりへの参加ができる区民、団体、事業者等		根拠法令等 (1) (2)		健康増進法 食育基本法				
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		自主グループで活動している人数 健康づくりリーダーの登録数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		自分は健康だと感じている区民の割合 区民意向調査による 適正な食事内容を知っている人の割合(20歳以上) 生活習慣行動調査による					
	メタボリックシンドロームの予防の知識をボランティアが区民に普及する。保健所における自主グループ活動を通じて健康づくりの仲間を増やす。食育ボランティア等との協働により食育を計画的に推進する。		すぎなみ地域大学の受講後に登録した健康づくりリーダー・食育推進ボランティアによる健康づくりの普及啓発や食育推進の活動を支援する。健康講座等参加者に呼びかけ、自主グループを結成し、食育や健康づくりに参画する区民のネットワークを拡大する。食育推進ボランティア等との協働による食育イベント等の事業を通じて健康的な食生活を普及する。よい歯ファミリーフェスティバルを開催する。							
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	1,126	1,200	1,080	1,200	1,051	1,200	87.6	
	活動指標(2)	2 人	43	60	53	60	54	60	90.0	
	成果指標(1)	3 %	85.9	87.0	87.5	87.0	87.2	87.0	100.2	
	成果指標(2)	4 %	59.6	62.0	59.6	62.0	55.2	62.0	89.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,548	3,989	3,590	3,939	3,565	5,100	平成26年度 予算執行率(%) 90.5	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	649	782	762	721	719	800		
	職員数	常勤職員数	8 人	5.76	6.07	6.13	6.05	1.46	2.30	
		再任用職員数	9 人	0.20	0.45	0.45	0.29	0.20	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.73	0.94	0.94	1.00	0.30	0.40	
	人件費	常勤職員分	11 千円	50,112	52,384	52,902	53,301	12,863	20,263	
		再任用職員分	12 千円	786	1,737	1,737	1,175	810	0	
		非常勤職員分	13 千円	2,008	2,613	2,613	2,830	849	1,132	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	56,454	60,723	60,842	61,245	18,087	26,495		
	単位あたりコスト (14÷6)÷1	15 円	50,137	50,603	56,335	51,038	17,209	22,079		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	1,048	1,001	613	1,063	633	951	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	1,048	1,001	613	1,063	633	951		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	55,406	59,722	60,229	60,182	17,454	25,544		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	336
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		食育シンポジウムの開催、食育イベントの実施	9,345	人	2,166
		地域団体との共同事業開催(5保健センター)及び地域支援講習	108	回	439
		自主グループ交流会等ネットワーク事業(5保健センター)	1,028	人	309
		健康づくりリーダー活動	54	人	443
		その他(よい歯ファミリーフェスティバル 述べ1,219人)			208
(2) 事業実績	<p>よい歯ファミリーフェスティバルは、杉並区歯科医師会、東京都歯科衛生士会、杉並歯科技工士会、区民自主グループ等の協力で実施し、体験コーナーは充実しています。 女性の健康週間イベントにおいて、健康づくりリーダー等区内で健康増進に係わる活動をしている地域団体が主体的に取組み、イベントを実施しました。 食育シンポジウム実行委員会主催の食育イベント(すぎなみごはん)を6月、11月の2回実施しました。ヘルシーメニュー推奨店延144店舗と青果店延74店舗が参画し食育活動を拡大しました。</p>				
事業開始当初から現在までの変化	<p>健康づくりリーダー 平成21年 29人 平成24年 43名 平成25年 53名 平成26年 54名 食育推進ボランティアは平成18年学務課の所管であった食育推進ボランティア37名は、平成21年保健所健康推進課に所管が移り平成26年140名となり、育成支援により地域での食環境整備に広く関わるようになっていきます。 自主グループ新規設立数 平成9年 16グループ 平成24年 1グループ よい歯ファミリーフェスティバルは杉並区歯科医師会と共催、平成15年度より東京都歯科衛生士会・杉並区歯科技工士会と協賛で実施しています。</p>				
事業環境の変化	<p>事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)</p> <p>地域の身近な区民がウォーキングなど様々な運動を実施することにより、安心感やコミュニティーの形成に役立つ。手作りの感覚で熱心に取り組んでくれるので親しみやすい。日常的にできる運動や健康に関する正しい知識の話題などを充実させて欲しい。食育ボランティアが作成配布する野菜の栄養・健康ポスターは、配布した青果店から喜ばれていて、お客さんから掲示してあるポスターを欲しいという要望もあります。</p>				
今後の予測	<p>健康づくり推進条例の基本理念である区民・事業者・関係団体及び区が、連携を図りながら協働して健康づくりに取り組むことが重要になります。 健康づくりリーダーや自主グループの活動を支援することにより、健康づくりネットワークが広がり、活動が活発になります。 よい歯ファミリーフェスティバルは歯科保健普及啓発事業の一つとして今後も継続していく必要があります。 食育シンポジウムや食育イベント等を通じたネットワークに参画する団体等が増えて、地域の食育推進に向けての活動が広がります。</p>				
評価と課題	<p>26年度のよい歯ファミリーフェスティバルは午後の集客数を上げるため新しい催しを導入しましたが、思いのほか集客につながりませんでした。午後の集客が課題となっています。 食育推進ボランティア、健康づくりリーダー、健康づくり自主グループの各々は、様々な地域での健康づくり活動を行っていますが、今後は身近な地域の健康課題について主体的に考えて取り組む力量が必要になってきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し		
今後の進め方	<p>健康づくりリーダーや自主グループ、食育推進ボランティアが主体的に地域の健康課題を知り、改善に向けて取り組めるように様々な交流の機会や情報提供を行いながら実践活動に向けた支援を推進します。 区民自らの健康的な生活の維持増進はもとより、自らの健康を守るために地域を健康的に変えていく必要があるため地域活動につなげていく必要があります。 よい歯ファミリーフェスティバルの内容を検討し、集客数を上げていきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00319)

事務事業名称 保健センター健康講座			款 04	項 05	目 01	事業 015	整理番号 337			
現担当課名 健康推進課		係名 健康推進係	連絡先電話番号 4524		昨年度整理番号 319					
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成 9年度								
	平成26年度担当課名	健康推進課					事業評価区分 一般			
	対象	健康手帳の交付：30歳以上の区民。健康増進教室：健康増進に関心のある区民。訪問指導：療養上の指導の必要な区民		根拠法令等 (1) (2)	健康増進法 地域保健法					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	健康手帳：健診等の記録をし、健康管理に役立てる。健康増進教室：疾病予防や健康づくりに関する正しい情報を選択し、実践できるようにする。訪問指導：健康に関する問題を把握し、心身の機能低下防止と健康増進を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	各種教室への参加延べ人数 訪問指導延べ件数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	健康手帳：申し込みのあった区民に健康手帳を交付する。健康増進教室：疾病予防や健康づくりに関する健康増進教室を実施する。訪問指導：保健師・看護師等が家庭を訪問し、本人及び家族の相談、指導を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	教室に参加して有意義と感じた区民の割合 教室参加者に対し、アンケート実施 自分は健康だと感じている区民の割合 区民意向調査による						
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	1,934	1,500	1,378	1,200	1,128	1,200	94.0	
	活動指標(2)	2 件	41	50	26	50	28	50	56.0	
	成果指標(1)	3 %	95.0	95.0	93.0	95.0	91.9	95.0	96.7	
	成果指標(2)	4 %	85.9	87.0	87.5	87.0	87.2	88.0	100.2	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,434	4,072	3,410	3,383	2,519	4,924	平成26年度 予算執行率(%) 74.5	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の理由 ・予定した講演会講師を、常勤職員で対応した。 ・予定した講師単価より低額の講師単価で実施した。	
	(内)委託費	7 千円	331	614	242	575	124	835		
	職員数	常勤職員数	8 人	4.31	4.74	5.02	5.03	0.38		0.40
		再任用職員数	9 人	0.20	0.35	0.35	0.15	0.10		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.80	0.97	0.97	0.70	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	37,497	40,906	43,323	44,314	3,348		3,524
		再任用職員分	12 千円	786	1,351	1,351	608	405		0
		非常勤職員分	13 千円	2,200	2,697	2,697	1,981	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	43,917	49,026	50,781	50,286	6,272	8,448		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	22,708	32,684	36,851	41,905	5,560	7,040		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	1,975	1,880	1,897	1,745	1,685		1,022
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	1,975	1,880	1,897	1,745	1,685	1,022		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	41,942	47,146	48,884	48,541	4,587	7,426		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 337			
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		健康増進教室（生活習慣改善教室・年代別教室・女性の健康講座）	1,587	人	1,796
		訪問指導	28	人	99
		健康手帳交付	433	部	0
		その他（ ）			624
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>各保健センターで、生活習慣病予防教室（生活習慣改善、歯の健康）、年代別健康講座、女性の健康講座を実施しました。また、若い女性を対象とした骨の健康教室を、母親学級参加者に実施しました。</p> <p>訪問指導では、40～65歳未満の要支援の対象者及び家族に専門職が家庭訪問し、社会参加や自立を促すことで要介護状態になることを予防しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>介護保険制度の見直しがあり、訪問指導の対象者が虚弱者・家族介護者等、早期の予防的介入に重点が移ってきています。 重篤な疾病や要介護状態の予防のため生活習慣病予防対策の充実や女性の健康支援等、総合的な健康づくり施策の展開が求められています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>働き盛りの人の参加を促すためには、休日開催等の工夫や、子育て中の女性の講座では託児を希望するなどの意見が上がっています。 健診データを活用した効果的な講座や健康情報の提供が求められています。</p>			
	今後の予測	<p>27年度に策定される国保データヘルス計画などを参考に、区民の疾病傾向や健康に関する意識の促進のために効果的な健康教育のあり方の検討が必要です。特に休日開催や民間事業者との協働を視野に入れた取り組み、ITCを活用した情報発信など働き盛りの世代に向けた取り組みを強化していきます。</p>			
評価と課題		<p>健診データやレセプトデータの分析をもとに健康課題を明確にしてリスクを有する人に、保健センターの健康講座などを効果的に案内するなどの取組を行います。 訪問指導は、利用者は横ばいですが、家族への指導などを通じて介護予防や安心した在宅療養生活に役立っています。 健康手帳は、定期的に広報等で周知するなど普及啓発が必要です。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>平成26年度に健康づくり推進条例に基づく目標・指標を設定しました。生活習慣病予防に関しても数値目標を掲げており、目標達成を意識した健康づくり事業を行うこととしています。その中で、健診データを活用した効果的な健康教育の仕組みづくりを検討していくとともに、民間事業者との協働も視野に入れて働き盛りの年代の区民が参加しやすい講座の実施を目指していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00320)

事務事業名称		特定給食施設への指導			款	04	項	05	目	01	事業	016	整理番号	338	
現担当課名		健康推進課		係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	320			
上位施策No・施策名		12 いきいきと暮らせる健康づくり							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成 9年度													
	平成26年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般					
	対象	特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設			根拠法令等	(1)		健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条							
						(2)		杉並区健康増進法施行規則第3、4、5条							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	特定給食施設指導を通して、施設の栄養管理業務の向上を図る。 このことにより、喫食者の健康の維持増進を図る。			活動指標	指標名(1)		施設への巡回指導及び来所指導件数							
					指標説明		講習会参加者数								
					指標名(2)		講習会参加者数								
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	給食施設から提出された開始届、変更届け、廃止届け等の受理 栄養管理報告書に基づく施設指導 課題解決にむけ施設の巡回来所指導を実施 栄養管理向上のための講演会の実施 調理技術向上のための講習会の実施 地域での栄養イベント実施の機会の提供 自主的な学習・地域貢献団体への支援			成果指標	指標名(1)		健康づくりの一環として給食が機能している給食施設の割合								
					指標説明		給食の位置づけに対して十分機能している給食施設数÷栄養管理報告書提出給食施設数								
					指標名(2)		栄養・健康教育を実施した施設の割合								
					指標説明		喫食者に栄養・健康教育を実施した施設数÷栄養管理報告書を提出した給食施設数								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	施設	80	100	126	130	79	0	60.8					
	活動指標(2)	2	人	139	150	134	150	169	0	112.7					
	成果指標(1)	3	%	53.8	70.0	51.0	70.0	76.8	80.0	109.7					
	成果指標(2)	4	%	99.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	251	360	348	351	321	420	平成26年度予算執行率(%)	91.5				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	41	50	50	45	45	63						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.49	0.27	0.28	0.19	0.19	0.40					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.30	0.40	0.60	0.60	0.60					
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,263	2,330	2,416	1,674	1,674	3,524					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	550	834	1,112	1,698	1,698	1,698					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	5,064	3,524	3,876	3,723	3,693	5,642						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	63,300	35,240	30,762	28,638	46,747	0						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	5,064	3,524	3,876	3,723	3,693	5,642						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		338	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		栄養管理者講習会	2	回	152
		栄養技術講習会	2	回	129
		栄養管理報告書の受理と指導	223	件	40
		自主団体が行う学習・地域貢献イベントへの支援	7	回	0
	その他（ ）				
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>栄養管理講習会では、危機管理としての「特定給食施設における災害時の対応について」と「日本人の食事摂取基準（2015年版）」が平成27年度より変更となることから、新たな考え方について検討委員の先生から講演を行い十分活用できるよう解説を行った。また、栄養技術講習会では、給食業務において利用者の命に関わる食物アレルギーへの実践的な講座を実施した。栄養管理報告書にBMIの評価が入るなど、新たな様式に変更となったため、事前の説明会を行うなどして周知を行った。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>本事業は、食料不足時代に給食内容の充実を図るために開始されました。その後、外食や既製食品の利用が容易になり、給食への依存度は低下していることや給食を実施する勤労者寮や事業所の閉鎖、移転により施設数が減少しています。一方、小規模の高齢者施設や保育所などの児童福祉施設が増加し、特定給食数の基準に満たない規模の施設からの対応依頼が増加しています。平成25年に施行された健康日本21第二次の計画から、生活習慣病予防対策に特定給食施設指導が位置づけられ、施設利用者のBMIの評価を行って、平成27年度より栄養指導を強化することになっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>栄養管理報告の様式が対象者の体格指数を用いて、対象者への栄養管理効果を評価することになるが、児童福祉施設では、対象者の成長することにより評価が難しいこと。障害者施設等の対象者事情により栄養指導が基準通りでは、日常生活に支障が生じるケースがある等、施設の対象者をよく見ている栄養士から意見がだされています。</p>			
	今後の予測	<p>食の形態が多様化し、給食の提供も3回の食事の中で1回であったり、選択食としてそれぞれの個人の自由な選択による能力が重要となってくる。またそのことで、メタボリックシンドロームや生活習慣病への罹患が左右されることから、給食施設の食事は、栄養の給源としての役割から、食育としてのバランスの良い適量の食事を一人ひとりが健康的に選択できるようにするための体験学習の機会と場としての役割が強くなってきます。その為、特定給食施設指導も各施設の栄養教育・食育の技術提供の必要性が高くなってくと予測される。</p>			
評価と課題	<p>栄養管理講習会に参加者した管理栄養士等から、良く理解できた、理解できたを合わせて各々概ね93%が理解できたと回答があった。また、職場で役立てられるかという質問に対して、大変役立つ、役立つを合わせて概ね98%の人から役立つという回答を得た。栄養技術講習会においては、給食提供において重要な課題となっている食物アレルギーへの対応について、参加した栄養士、調理師のほぼ全員が役立てたいと回答している。栄養管理報告書も、施設対象者の健康管理部門との連携によりBMIの経年評価を行うことになったので、今後効果を上げる栄養管理指導に向けた情報提供や施設同士のネットワークを強化する必要がある。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>特定給食施設指導における利用者の身体状況に応じた指導の効果を上げるために、引き続き管理講習会や技術講習会においても評価の視点を重視した指導支援を行う必要があります。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00321)

事務事業名称		がん検診				款	04	項	05	目	01	事業	017	整理番号	339
現担当課名		健康推進課		係名		健康推進係		連絡先電話番号		4524		昨年度整理番号		321	
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		昭和51年度		実行計画事業		目標 04		施策 12		計画事業 04		主要事業(区政経営報告書掲載事業)		
	平成26年度担当課名		健康推進課										事業評価区分 一般		
	対象		職場等に検診機会のない区民				根拠法令等		(1)		胃がん検診実施要領、肺がん検診実施要領				
									(2)		子宮がん検診実施要領、乳がん検診実施要領、大腸がん検診実施要領、前立腺がん検査補助金要綱				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		早期にがんを発見するとともに、検診により区民の健康意識を高める。 将来的に75歳未満のがんによる死亡率を減少させる。				活動指標		指標名(1)		がん検診受診者数				
								指標説明		要精密検査者数					
								指標名(2)							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		胃がん検診(胃X線検査)の実施 子宮頸がん検診(頸部細胞診検査)の実施 肺がん検診(胸部X線検査)の実施 乳がん検診(マンモグラフィ)の実施 大腸がん検診(便潜血2日法)の実施 前立腺がん検査(P S A検査)の実施				成果指標		指標名(1)		20歳~39歳の子宮頸がん検診受診者数					
								指標説明							
								指標名(2)		40歳~59歳の乳がん検診受診者数					
								指標説明							
区分		単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度				
			実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)		
指標	活動指標(1)		1	人	98,741	100,000	101,772	103,000	137,889	120,000	133.9				
	活動指標(2)		2	人	7,405	8,000	7,267	8,000	9,700	9,000	121.3				
	成果指標(1)		3	人	6,144	7,000	6,151	7,000	8,146	8,000	116.4				
	成果指標(2)		4	人	7,227	10,000	7,750	10,000	8,861	10,000	88.6				
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	467,013	559,802	518,889	762,911	760,433	642,490	平成26年度 予算執行率(%)		99.7		
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費		7	千円	443,450	536,698	500,390	739,542	737,500	620,402	受診者数の内訳				
	職員数	常勤職員数		8	人	2.93	2.46	2.51	2.33	2.35	2.20	胃がん検診		12,342人	
		再任用職員数		9	人	1.01	0.00	0.00	0.81	0.00	0.20	肺がん検診		22,593人	
		非常勤職員数		10	人	0.00	1.00	1.00	0.50	0.50	0.90	大腸がん検診		67,929人	
	人件費	常勤職員分		11	千円	25,491	21,230	21,661	20,527	20,704	19,382	子宮頸がん検診		19,264人	
		再任用職員分		12	千円	3,969	0	0	3,281	0	810	乳がん検診		13,844人	
		非常勤職員分		13	千円	0	2,780	2,780	1,415	1,415	2,547	前立腺がん検査		1,917人	
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	496,473	583,812	543,330	788,134	782,552	665,229	合計		137,889人		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	5,028	5,838	5,339	7,652	5,675	5,544					
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		17	千円	53,797	64,053	41,198	67,857	37,795	48,275				
		都からの補助金等		18	千円	0	10,000	11,080	10,000	6,935	10,000				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	53,797	74,053	52,278	77,857	44,730	58,275						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	442,676	509,759	491,052	710,277	737,822	606,954						
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	339
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	肺がん検診	22,593	人	128,127
		子宮頸がん検診	19,264	人	91,647
		乳がん検診	13,844	人	116,423
		胃がん検診	12,342	人	173,038
		その他（大腸がん・女性特有がん・働く世代への大腸がん検診ほか）			251,198
	(2) 事業実績	<p>「がん対策推進計画」に基づき、がん予防に関する知識の普及啓発、がん検診を推進し、職場で受診機会のない方を対象に、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がんの6つの検診等を実施しました。利便性の向上と効果的な受診勧奨を目的に、区民健康診査（特定健診）対象者に、特定健診の案内・受診券を送付する際、受診可能ながん検診（胃がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん）の受診券を同封しました。また、区民健康診査（成人等健診、後期高齢者健診）対象者にはがん検診の申込はがき付案内を同封しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成10年度子宮・乳がん検診登録制度開始、平成11年度胃がん検診車の廃止、平成12年度胃がん検診血清ペプシノゲン検査開始、平成14年度がん検診を一部有料化、子宮・乳がん検診通年実施、平成16年度子宮がん検診の対象年齢を20歳以上に引下げ、乳がん検診の対象年齢を40歳以上偶数歳で隔年実施（平成18年度から2年に1回の受診）、平成20年度胃がん検診血清ペプシノゲン検査の廃止、平成23年度喉頭がん検診の廃止、平成24年度がん対策推進計画策定、平成25年度がん検診電算システム導入・がん検診費用の自己負担軽減・電子申請による申込受付開始。平成26年度がん検診電算システム本格稼働による個別受診勧奨、再勧奨等受診率向上の取組。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>近隣区でも受診できるようにしてほしいとの要望があります。 いつでも受診できるようにしてほしいとの要望があります。 複数のがん検診を同時に受けられるようにしてほしいとの要望があります。 対象年齢の拡大の要望があります。</p>			
	今後の予測	<p>がん検診に対する需要は高まると予想します。</p>			
評価と課題		<p>「がん対策推進計画」に基づき、がん予防に関する知識の普及啓発、がん検診の推進に取り組みました。具体的には、がん検診電算システムの本格稼働により、前年度受診履歴のある方へ受診券の自動発送を行い、効果的な受診勧奨を実施しました。また、区民健康診査（特定健診）対象者にはがん検診受診券を同時送付し、受診しやすい環境を整備しました。部位毎の全てのがん検診の受診者数は増加し、特に肺がん検診は昨年度の5倍、胃がん検診は2倍になりました。社会保険加入者（働き盛りの年齢層）に対し、職域でのがん検診受診機会の有無を調査しました。平成27年度以降に効果的な個別受診勧奨を実施し、受診率向上を目指します。さらにシステムを活用し精密検査結果の早期把握に努め、未把握者については医療機関ごとの追跡調査実施後、未受診者へ個別受診勧奨を行います。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>がん検診電算システムを活用し、効果的な個別受診勧奨・再勧奨による受診率向上を目指します。要精密者の追跡調査を医療機関ごとに行い、未把握・未受診者に個別受診勧奨し、精密検査受診率の向上を目指します。 精度管理に取り組み、がん検診の質の向上を目指します。 75歳未満年齢調整死亡率が高い子宮頸がん・乳がんの検診の個別受診勧奨・再勧奨を重点的に実施し、予防に関する一層の普及啓発を行います。 がん対策推進計画を着実に実行し、総合的にがん対策を推進し、75歳未満のがんによる死亡率を減少させます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00322)

事務事業名称 区民健康診査			款 04	項 05	目 01	事業 018	整理番号 340			
現担当課名 健康推進課		係名 健康推進係		連絡先電話番号 4524		昨年度整理番号 322				
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業				
事業開始 昭和58年度		実行計画事業 目標 04 施策 12		計画事業 02						
平成26年度担当課名 健康推進課						事業評価区分 一般				
対象		30歳～39歳で職場などで健診を受ける機会のない区民 40歳以上で医療保険に加入していない生活保護受給者等		根拠法令等 (1) (2)		健康増進法第19条の2				
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		受診者数 異常所見者数(異常なし以外)					
	生活習慣病予防対策の一環として、糖尿病などの疾患の早期発見を図る。 定期的に健診を受けることにより、かかりつけ医を持つ。 生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づけをする。									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明							
	基本検査(問診・計測・血圧測定・血液検査・尿検査)の実施 詳細な健診(貧血検査・心電図・眼底検査)の実施 追加健診(胸部X線検査・肝炎ウイルス検査)の実施		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		受診率(30歳～39歳) 受診者数÷(対象人口×対象人口率 0.351) 異常所見率 異常所見者数÷受診者数					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画(目標値) 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	5,052	6,200	4,974	4,500	5,643	6,000	125.4	
	活動指標(2)	2 人	3,538	4,216	3,530	3,100	4,210	3,700	135.8	
	成果指標(1)	3 %	9.6	25.0	9.4	15.0	10.3	15.0	68.7	
	成果指標(2)	4 %	70.0	65.0	71.0	65.0	74.6	65.0	114.8	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	144,626	170,331	134,571	156,164	152,705	165,315	平成26年度 予算執行率(%) 97.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	143,204	167,131	133,320	154,313	151,356	163,778	平成20年度から特定健診開始に伴い対象者が変更になりました。 平成24～26年度受診者数...40歳以上の生活保護受給者を含む。 受診率...30～39歳の職場で受診機会のない人を対象。 平成24年度 3,360人÷34,708人=9.6% 平成25年度 3,232人÷34,338人=9.4% 平成26年度 3,544人÷34,115人=10.3%	
	職員数	常勤職員数	8 人	2.13	1.97	2.01	1.16	1.17	1.00	
		再任用職員数	9 人	0.50	0.50	0.51	0.00	0.50	0.40	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.90	0.90	0.90	
	人件費	常勤職員分	11 千円	18,531	17,001	17,346	10,220	10,308	8,810	
		再任用職員分	12 千円	1,965	1,930	1,969	0	2,025	1,620	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	2,547	2,547	2,547	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	165,122	189,262	153,886	168,931	167,585	178,292		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	32,684	30,526	30,938	37,540	29,698	29,715		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	16,932	20,989	22,502	20,925	31,899	24,894	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	16,932	20,989	22,502	20,925	31,899	24,894		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	148,190	168,273	131,384	148,006	135,686	153,398		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	340	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		区民健康診査委託	5,643	人	150,068	
		受診票送付経費				1,288
		パートタイマー報酬				711
		受診票印刷				561
		その他（保険料ほか）				77
	(2) 事業実績	寝たきり等で医療機関へ行けない人には、医師が自宅へ訪問して区民健康診査を実施しました。 訪問診査件数 成人等健診 74件（特定健診・高齢者健診 786件）				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初、老人保健法で対象の40歳～60歳までを成人健康診査、60歳以上を老人健康診査として実施。昭和61年度に成人の対象年齢を35歳以上、平成2年度から30歳以上に引き下げました。平成8年度から登録制を一部実施。平成15年度から成人健康診査と高齢者健康診査を統一して区民健康診査として実施。平成20年度から、成人等健診・特定健診・後期高齢者健診として実施しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	設定した受診期間外の受診を希望する区民が増えています。 医療と定期健康診査を混同した意見が寄せられることがあります。 検査項目について、自身の受けたい項目を受診したいと要望があります。 がん検診等、複数の健診を同時に受診したいとの要望があります。				
	今後の予測	30～39歳人口は若干減少傾向であり、また非正規労働者や失業者が増加すると職場で健診を受ける機会のない人が増え、受診者の増加が予想されます。				
	評価と課題	職場で健診を受ける機会のない区民に対し、年に1回の定期的な健康診査を実施してもらうことで、健康状態のチェックが可能となります。 、未受診者に対しては、健康診査の重要性を理解してもらうため、より一層の普及啓発が必要ですが、健診の機会の有無を把握することが難しく、適当かつ効果的な対象者の抽出方法がないことが課題です。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	この事業評価の対象は「30～39歳の職場で健診機会のない人」ですので、正規労働者や失業者が増加すれば健診ニーズが高まります。また、希望による申込み制のため、区民一人ひとりが自分自身の健康に関心を持っていただくことが大切です。 広報への掲載のほか、医療機関に健診ポスターを掲示する、「がん検診おしらせリーフレット」に健診案内を掲載する等、様々な手段で案内し、受診申込みにつながるよう工夫します。 更に、その時だけの健診で終わらせぬよう、生活習慣や食生活の改善を目的とした健診後のフォローを行ない、健診を継続していけるよう意識付けをします。若い頃から意識を持つことで、生涯にわたって健康の維持・増進を図れるよう進めていきます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00323)

事務事業名称 成人歯科健康診査			款 04	項 05	目 01	事業 019	整理番号 341				
現担当課名 健康推進課		係名 健康推進係		連絡先電話番号 4524		昨年度整理番号 323					
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成13年度		実行計画事業 目標 04 施策 12		計画事業 03							
平成26年度担当課名 健康推進課						事業評価区分 一般					
対象 該当年度に20・25・30・35・40・45・50・60・70歳になる区民		根拠法令等 (1)		健康増進法19条							
		(2)		杉並区成人歯科健康診査実施要綱							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 健診と保健指導を通じて、歯科疾患の発生と重症化を防ぐ。 定期健診のきっかけをつくることで、かかりつけ歯科医の定着を図る。		活動指標 指標名(1)		健診受診者数						
			指標説明		健診実績数						
			指標名(2)								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 20・25・30・35・40・45・50・60・70歳の区民に対し受診券を送付し、指定歯科医療機関で歯科健診を実施する。 健診内容は、問診、口腔内診査、健診に基づく保健指導。 実施期間は、6月～12月。 受診率向上のため、20・25・30・35・40・45・50歳対象に「歯のクリーニング」(希望制)を自己負担300円で実施。 20～50歳に対し、翌年度再評価調査を行う。		成果指標 指標名(1)		健診受診率							
		指標説明									
		指標名(2)		重症歯周疾患有病者率							
		指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	9,099	11,000	9,253	9,500	9,206	9,500	96.9		
	活動指標(2)	2									
	成果指標(1)	3 %	12.4	13.0	12.4	12.0	12.5	13.0	104.2		
	成果指標(2)	4 %	46.2	46.0	45.0	45.0	46.5	45.0	103.3		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	73,656	87,470	74,072	76,599	75,902	84,063	平成26年度 予算執行率(%)	99.1	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	70,652	84,556	71,307	75,809	75,175	82,556			
	職員数	常勤職員数	8 人	0.44	0.44	0.39	0.44	0.45	0.40		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.30	0.30	0.44	0.30	0.00		
		非常勤職員数	10 人	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20		
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,828	3,797	3,366	3,876	3,965	3,524		
		再任用職員分	12 千円	0	1,158	1,158	1,782	1,215	0		
		非常勤職員分	13 千円	550	0	0	0	0	566		
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	78,034	92,425	78,596	82,257	81,082	88,153			
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	8,576	8,402	8,494	8,659	8,808	9,279			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	8,250	10,732	8,234	8,976	9,732	10,064		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	8,250	10,732	8,234	8,976	9,732	10,064			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	69,784	81,693	70,362	73,281	71,350	78,089			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	341
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		成人歯科健康診査	9,206	人	75,902
		その他()			
(2) 事業実績	<p>受診率はここ3年横ばいです。(平成24年度12.4%、平成25年度12.4%、平成26年度12.5%) 減少傾向にあった「40歳の重度歯周疾患有病者率」が高くなりました。(平成24年度46.2%、平成25年度45%、平成26年度46.5%)</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成13年度から40・50・60歳を対象に開始した事業ですが、徐々に対象年齢の拡大を行い、平成23年度からは20・25・30・35・40・45・50・60・70を対象者に歯科健診を実施しています。 成果指標とする「40歳の重度歯周疾患有病者率」は東京都の平均値の推移より依然高い状況です。 (東京都 平成25年度 38.9%) 平成22年度より中野区歯科医師会と、平成25年度より練馬区歯科医師会と委託契約を結び実施しています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>具体的な歯周疾患予防方法を含む健康教育や保健指導への期待、最新の知見を得る場としても期待されています。 若い世代の受診率向上を目的に「歯のクリーニング」を実施しましたが、60・70歳からの要望も寄せられています。 本人のかかりつけ歯科医が受診医療機関に指定されていない、通院困難な障害者の方等が受診できないなどの苦情も寄せられています。</p>			
	今後の予測	<p>他自治体と比較すると高い受診率を維持しています。今後もこの状態を維持できるよう歯科健診の大切さを啓発していきます。 厚生労働省の歯周疾患マニュアルの改訂が予定されており、健診項目の一部変更も予想されます。</p>			
評価と課題	<p>歯周疾患の予防、早期発見、かかりつけ歯科医の定着を図るため、若い世代の歯科健診の受診率を向上させていくことが課題となります。 歯科医療機関に通院することができない区民の方の受診が課題となります。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	今後の進め方	<p>歯周疾患マニュアルの改訂に関する情報を収集していきます。 歯科医療機関に通院することができない区民の方の受診を検討していきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00324)

事務事業名称 中高年者眼科検診			款 04	項 05	目 01	事業 020	整理番号 342				
現担当課名 健康推進課		係名 健康推進係	連絡先電話番号 4524			昨年度整理番号 324					
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成20年度									
	平成26年度担当課名	健康推進課				事業評価区分 一般					
	対象	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の区民	根拠法令等 (1)	杉並区眼科検診事業実施要綱							
			(2)								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	中高年者を対象に、緑内障や加齢黄斑変性の早期発見、早期治療を目的とする。早期に発見し、適切な治療を受けることで、生涯にわたって目を守ることを目標とする。		活動指標 指標名(1)	受診者数						
			指標説明	受診率							
			指標名(2)	受診者数÷対象人数							
			指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の区民に対し、受診券を郵送し、指定医療機関で検診を実施する。検査項目は、問診、眼圧測定・眼底検査、細隙燈顕微鏡検査。実施期間 10月から1月まで。自己負担金 300円。		成果指標 指標名(1)	緑内障の疑いのある人							
			指標説明	精密検査が必要と判断された人数							
			指標名(2)	加齢黄斑変性の疑いのある人							
			指標説明	精密検査が必要と判断された人数							
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	6,901	6,800	7,054	7,100	6,962	7,100	98.1		
	活動指標(2)	2 %	18.2	20.0	18.2	20.0	17.7	20.0	88.5		
	成果指標(1)	3 人	1,756	1,600	1,991	1,650	2,042	1,800	123.8		
	成果指標(2)	4 人	195	190	222	200	198	200	99.0		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	49,519	50,962	50,695	52,108	51,991	55,541	平成26年度 予算執行率(%)	99.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	48,483	49,783	49,660	52,038	51,946	55,471			
	職員数	常勤職員数	8 人	0.05	0.05	0.06	0.06	0.11	0.10		
		再任用職員数	9 人	0.50	0.50	0.51	0.59	0.50	0.40		
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40		
	人件費	常勤職員分	11 千円	435	432	518	529	969	881		
		再任用職員分	12 千円	1,965	1,930	1,969	2,390	2,025	1,620		
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	1,132	1,132	1,132		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	51,919	53,324	53,182	56,159	56,117	59,174			
	単位あたりコスト(14÷6)÷1	15 円	7,523	7,842	7,539	7,910	8,060	8,334			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(14-20)		21 千円	51,919	53,324	53,182	56,159	56,117	59,174			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	342	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		中高年者眼科検診	6,962	人	51,991	
(2) 事業実績	<p>受診者6,962人のうち「緑内障の疑いのある人2,042人」、「加齢黄斑変性の疑いのある人198人」を発見することが出来ました。</p>					
	<p>平成20年度から開始しました。受診者数は、平成24年度は6,901人、平成25年度は7,054人、平成26年度は6,962人です。受診率は約17.7%と横ばいです。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>「自覚症状がなかったが緑内障が発見され、早期の治療を受けることができました。」との声が寄せられています。 対象年齢を65歳以上にも広げてほしいとの要望があります。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>65歳・70歳も対象とするよう年齢拡大の要望があります。視覚を失うと生活に支障をきたすことから、高齢者が自立した生活を確保するため、今後より一層、要望が高まることが予測されます。</p>				
	今後の予測	<p>受診者6,962人のうち、緑内障の疑いのある人は2,042人、加齢黄斑変性の疑いのある人は198人でした。特に緑内障を昨年より多く発見することができました。受診者からも早期発見・早期治療ができて本当に良かったとの声も寄せられています。その一方で、対象者39,384人のうち、約82.3%の人（32,422人）が未受診です。受診率の向上が課題です。</p>				
評価と課題		<p>受診者6,962人のうち、緑内障の疑いのある人は2,042人、加齢黄斑変性の疑いのある人は198人でした。特に緑内障を昨年より多く発見することができました。受診者からも早期発見・早期治療ができて本当に良かったとの声も寄せられています。その一方で、対象者39,384人のうち、約82.3%の人（32,422人）が未受診です。受診率の向上が課題です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	<p>対象年齢に該当した人全員に自動的に受診票が届くようになっていますが、受診率は約17.7%であり、5人に一人しか受診していません。受診率の向上には、区民一人ひとりが自分自身の健康について関心を持つことが必要です。受診案内を受け取った人が受診に結びつくよう、配付物の工夫をしています。がん検診のおしらせリーフレットやポスターには、眼科検診の内容も掲載し、広報等を通して、一層の普及啓発を行います。</p> <p>緑内障は白内障と並んで、中高年の方に起こる代表的な目の病気です。多くの緑内障は自覚症状がなく気づかないまま進行し、最悪の場合は失明に至ることがあります。自立生活を送るうえで重要な要素である視覚を失うことのないよう、早期発見・早期治療のため、この事業を推進します。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00325)

事務事業名称 生活習慣病予防対策			款 04	項 05	目 01	事業 021	整理番号 343					
現担当課名 健康推進課		係名 健康推進係		連絡先電話番号 4524		昨年度整理番号 325						
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業						
事業開始 平成18年度		実行計画事業 目標 04 施策 12		計画事業 01								
平成26年度担当課名 健康推進課						事業評価区分 一般						
対象		メタボリックシンドローム、糖尿病、がんなどの生活習慣病の該当者や予備群など区内在住・在勤者 区内飲食店、スーパー、コンビニ等及び商店会		根拠法令等 (1) (2)		健康増進法 ヘルシーメニュー推奨店実施要綱						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		生活習慣病の罹患割合の減少を図る。 健康的な生活習慣に取組む区民を増やす。 ○健康的な生活習慣を支援する環境を整備する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		メタボリックシンドローム予防・改善教室の参加者数 教室の延べ参加者数 ヘルシーメニュー推奨店の取り組み数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		食事・運動に関する実践講座や健康相談を実施する。 ウェブサイトやチラシ等でメタボリックシンドローム、糖尿病、がんなどの生活習慣病の予防・改善の普及啓発を図る。 ヘルシーメニュー推奨店事業の登録・認証店(喫食者の健康に配慮する飲食店等)を区内に増やす。		指標説明 成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		年度中に、ヘルシーメニュー推奨店として新規に登録又は認証した数 特定健康診査において内臓脂肪症候群の該当者とその予備群の割合					
	区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
				実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)		1	人	267	280	221	280	290	280	103.6	
	活動指標(2)		2	店	75	90	50	90	62	50	68.9	
	成果指標(1)		3	%	0.0	22.0	20.3	21.0	20.6	20.0	98.1	
	成果指標(2)		4	%								
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	9,367	9,612	8,687	9,494	8,348	8,092	平成26年度 予算執行率(%) 87.9	
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の理由 ・ヘルシーメニュー推奨店栄養指導院の人数変更による謝礼金の残 ・運動教室のプログラム内容変更による委託費の残 ・禁煙ポスター、印刷単価減、分煙ステッカー作成費残	
	(内)委託費		7	千円	5,519	5,391	5,281	4,989	4,562	4,777		
	職員数	常勤職員数		8	人	4.09	4.81	4.84	4.95	1.61		1.60
		再任用職員数		9	人	1.18	0.79	0.84	0.00	0.05		0.00
		非常勤職員数		10	人	0.00	1.04	0.84	1.20	0.80		0.80
	人件費	常勤職員分		11	千円	35,583	41,510	41,769	43,610	14,184		14,096
		再任用職員分		12	千円	4,637	3,049	3,242	0	203		0
		非常勤職員分		13	千円	0	2,891	2,335	3,396	2,264		2,264
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	49,587	57,062	56,033	56,500	24,999	24,452		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	185,719	203,793	253,543	201,786	86,203	87,329		
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等		17	千円	499	460	480	656	514		164
		都からの補助金等		18	千円	4,097	2,160	3,831	1,590	3,655		1,138
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,596	2,620	4,311	2,246	4,169	1,302			
差引:一般財源(14-20)		21	千円	44,991	54,442	51,722	54,254	20,830	23,150			
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 343

平成26年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	メタボリックシンドローム予防の普及啓発等(ウェブサイト運営、チラシ等)		
	メタボリックシンドローム予防・改善教室(半日を1回とする)	314	人	820
	ヘルシーメニュー推奨店(取組中の店を含む)	842	店	2,505
	健康増進事業(食生活教室11回・運動教室3回・禁煙教室1回)	15	回	2,029
	その他()			
(2) 事業実績	<p>糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策としての実践的な生活習慣の改善に重きを置き健康講座の実施及びヘルシーメニュー推奨店事業の拡充による食環境整備や普及啓発などを実施してきました。また、新たな取組として、企業や事業者との連携による健康増進事業の実施や最新の健康情報の普及を区民の身近な地域で行うことで、若年層への運動習慣のきっかけや食生活の改善に向けた契機とし、より積極的な健康増進に向けての講座を実施しました。</p>			

事業開始当初から現在までの変化	<p>平成20年度から内臓脂肪症候群の該当者とその予備群を減少するために特定健康診査・特定保健指導が実施され、平成24年度までに10%減少させる目標が設定されたことにより当該事業の成果指標もこれと同様としました。杉並ウエストサイズ物語は、平成18年度から実施しており、内臓脂肪症候群及び生活習慣病に対する区民の認知度は高まりました。しかし、食生活や運動の実践割合は約6割と低く、健康的な生活の実践はなかなか定着していない状況です。</p>
事業環境の変化 事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>血圧計、体組成計を設置する杉並ウエストサイズ物語コーナーをよく利用し体調管理をしている。ウェブサイトを昨年からスタートしたブログ(杉並コミュニティサイト)は楽しい、さらに更新を多くして欲しい。ヘルシーメニュー推奨店からは健康情報提供は重要性がある、利用している区民からは店舗数の拡大や内容の質を高めるようになどの意見があります。</p>
今後の予測	<p>高齢者の割合が増加の一途である状況から、早いうちからの生活習慣の改善及び定着に加え生活習慣病の重症化を阻止する仕組みを強化しなければ、今後医療費が増大する可能性があります。</p>
評価と課題	<p>平成24年度から、より若い区民への身近な実践につながる健康増進事業(スマートライフ健康教室)の取組を、地域の企業、団体等との協働により実施することで、より身近な地域で参加しやすい講座の実施につなげている。 今後は、普及啓発や環境整備も含め、健康的な生活習慣の定着に向けた契機として若年層が参加しやすい企画や仕組みを作りに向けて事業を見直し、工夫を凝らして実施につなげていく必要があります。</p>

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
	今後の進め方	<p>区民の行動スタイルをリサーチしながら、引き続きより多くの区民の健康的な生活の実践に向けて情報発信を繰り返し行っていきます。ヘルシーメニュー推奨店の質の向上に向けて仕組みの見直しを行い、区民の誰もが生活習慣病予防及び改善に向けた食生活の実践ができるように事業実施の充実を図ります。 さらに、糖尿病予防の重症化予防の取組を行い、人工透析を阻止できるよう医師会等との連携による仕組みづくりを行っていきます。</p>	

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00326)

事務事業名称		精神保健対策			款	04	項	05	目	01	事業	022	整理番号	344	
現担当課名		保健予防課			係名	保健予防係			連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	326		
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度			主要事業(区政経営報告書掲載事業)										
	平成26年度担当課名	保健予防課			事業評価区分 一般										
	対象	精神障害者及びその家族、一般区民			根拠法令等	(1)		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律							
						(2)		杉並区精神保健事業実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	心の健康に関する普及啓発と心の健康相談の充実により、区民がいきいきと安心して暮らすことができる。自殺の大きな要因であるうつ病予防に取り組み、なるべく多くの区民がうつ病予防の対処ができる。成人期発達障害者を含めた精神疾患を持つ方々が安定した地域生活を送ることができる。			活動指標	指標名(1)		精神保健相談延件数(精神科医及び保健師による精神保健相談)							
					指標説明		社会復帰訓練参加延人数								
					指標名(2)		社会復帰訓練退所者の社会復帰率								
					指標説明										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標	指標名(1)		精神保健相談実相談件数(精神科医及び保健師による精神保健相談)								
	精神科専門医や保健師による相談を実施する。自殺予防として早期の治療につなげるため、うつ病など精神疾患についての講演会を実施する。回復途上にある精神障害者への集団活動を通じた社会復帰訓練を実施する。社会復帰訓練は、平成26年度から成人期発達障害者支援の一環としても実施し、また、成人期発達障害者向けの心理教育プログラムを新たに実施する。				指標説明		社会復帰訓練退所者の社会復帰率								
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1 件	12,324	13,500	11,445	13,500	11,799	13,500	87.4						
	活動指標(2)	2 人	2,203	2,400	1,814	2,400	1,658	2,400	69.1						
	成果指標(1)	3 人	3,556	3,600	3,562	3,600	3,652	3,800	101.4						
	成果指標(2)	4 %	86.1	85.0	89.7	85.0	77.8	85.0	91.5						
事業費		5 千円	17,082	19,012	17,599	20,606	18,700	21,306	平成26年度 予算執行率(%)	90.8					
(内)投資的経費等		6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
(内)委託費		7 千円	1,126	1,210	1,168	1,366	1,327	1,582	・平成26年度から新規事業「成人期発達障害者支援事業」を開始し、都の補助金を獲得。 ・活動指標(2)・成果指標(2)は、平成26年度から成人期発達障害者支援事業心理教育プログラム参加者を含めて算出。 ・平成26年7月「杉並区健康づくり推進条例」の施行により「心の健康づくり」の推進強化。 ・平成27年1月「難病医療法」の施行により指定難病が拡大、人件費が増。平成27年度から事業名を「精神保健・難病対策」とし、執行項目に「難病対策」を加えた。 ・平成27年度から自殺予防対策を精神保健対策と一体的に推進。						
総事業費・コスト把握	職員数	8 人	11.16	10.56	11.88	11.55	17.94	18.13							
	再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.55	0.90							
	非常勤職員数	10 人	0.54	0.24	0.22	0.25	0.69	1.30							
	人件費	11 千円	97,092	91,133	102,524	101,756	158,051	159,725							
	再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	2,228	3,645							
	非常勤職員分	13 千円	1,485	667	612	708	1,953	3,679							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	115,659	110,812	120,735	123,070	180,932	188,355							
	単位あたりコスト(14-6)÷1	15 円	9,385	8,208	10,549	9,116	15,335	13,952							
	財源	16 千円	0	0	0	0	0	0							
	国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
都からの補助金等	18 千円	576	576	576	576	7,069	8,275								
その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)	20 千円	576	576	576	576	7,069	8,275								
差引:一般財源(14-20)	21 千円	115,083	110,236	120,159	122,494	173,863	180,080								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 344

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	精神保健に関する相談	165	回	5,389
		心の健康づくりに関する講演会	7	回	519
		精神障害者の社会復帰訓練	238	回	10,061
		成人期発達障害者支援事業	27	回	1,325
		その他（自立支援医療受給者証等送付ほか）			1,406
	(2) 事業実績	平成26年度から関係各課と連携して、成人期発達障害者支援事業を開始し、心理教育プログラムを実施しました。また、「発達障害支援アセスメントシート」を開発・検証しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和50年に保健所業務が区移管されるとともに、精神障害者に対する相談、社会復帰訓練事業が開始されました。近年では、自殺の一因でもあるうつ病など心の病が増えており、区内の精神障害者保健福祉手帳の所持者数は年々増加しています。心の健康に関する区民への正しい知識の普及と必要な時に気軽に相談できる相談体制の整備が重要になっています。また、平成17年「発達障害者支援法」が施行されましたが、発達障害者の困難は一人ひとり異なり、支援体制の構築が難しく、情報収集や検討を重ねた上、様々な分野の連携による成人期発達障害者支援事業を開始しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	心の健康づくりは自殺予防対策としても有効であり、かつ、若者や自殺未遂者、うつ病、アルコール問題を抱える方等、特に必要性の高い対象者に対する自殺予防対策も求められています。問題を抱えていたり入院を繰り返す等の不安定な精神障害者に対し、迅速できめ細かな対応が求められています。また、児童虐待や高齢者虐待などの問題にも精神疾患が関係する場合があります。住民や関係機関から専門的な相談対応が期待されています。			
	今後の予測	平成26年7月に施行された「杉並区健康づくり推進条例」により、心の健康づくりの推進が、一層期待されています。また、自殺対策基本法制定から10年の節目を迎え、自殺総合対策の一層の推進が求められています。平成26年4月施行の改正精神保健福祉法により、入院から地域生活への移行が促進され、地域での精神保健に関する相談は増加することが予測されます。さらに、依存症や成人期発達障害、複数の問題を抱えている方等、地域での対応が困難な事例の増加が見込まれます。			
	評価と課題	精神保健相談や社会復帰訓練については、区民の相談窓口として保健センターが有効に活用されています。また、自殺予防対策や精神保健学級等の講演会で心の健康問題について区民への普及啓発に努めました。今後も内容の一層の充実を図り、区の実行計画を推進していきます。平成26年度から「成人期発達障害者支援事業」を開始し、検証を行いました。今後、利用者を増やしながら、プログラムを安定的に実施するとともに、各相談窓口での発達障害の一定のアセスメントが可能となるよう「発達障害支援アセスメントシート」の活用を図っていきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	心の健康づくりの一層の充実を図るため、心の健康に関する正しい知識の普及啓発と心の健康相談の充実を図ります。また、平成27年度から、うつ病対策等の精神保健対策と自殺予防対策を一体的に実施し、自殺者数の減少を目指します。成人期の発達障害者支援の充実を図るため、引き続き、障害者分野と連携し、成人期発達障害者支援事業を推進します。虐待や自殺など、多問題の困難事例に対応できるように相談の充実を図るとともに、困難事例の分析をもとにした相談窓口の対応力の向上を支援します。また、精神障害者の地域生活を支援するために、関係機関との連携を強化していきます。○難病医療法施行による制度の変化に的確に対応するとともに、地域における難病患者への療養支援について検討します。			

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00330）

事務事業名称		がん対策の推進			款	04	項	05	目	01	事業	026	整理番号	348		
現担当課名		健康推進課			係名	健康推進課			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	330			
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分				新規事業
事業開始		平成25年度	実行計画事業	目標	04	施策	12	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
平成26年度担当課名		地域保健課 健康推進課			事業評価区分						一般					
事務事業の概要	対象			がん一次予防：主に就学以降の区民			根拠法令等	(1)	がん対策推進基本計画							
								(2)	杉並区がん対策推進計画							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）			がん予防知識の普及啓発：がん予防に対する正しい知識と実践に取り組む区民を増加させる。成人の喫煙率を低下させる：子どもを持つ親の喫煙率を低下させる。がん患者や家族が安心して在宅療養生活を送れるよう、がんの在宅療養体制の充実や関係機関のネットワークの構築を図る。			活動指標	指標名(1)	普及啓発講演会の参加人数							
								指標説明	子宮頸がん検診を受ける世代への普及啓発人数							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			がん予防知識の普及啓発：がん予防に対する正しい知識と実践に関する講演会の実施、リーフレット、広報やホームページでの普及啓発。子どもを持つ親への禁煙支援：母親学級参加者へ禁煙に関する健康教育、及びリーフレット等の配布。ポスター、チラシ、イベント等を通じた1日5皿（350g）の野菜摂取等がん予防の食生活の普及。在宅医療推進協議会のがん対策部会の中で検討を進める。			成果指標	指標名(1)	成人の喫煙率								
							指標説明	生活習慣行動調査による								
							指標名(2)	野菜料理を1日5皿（350g）以上摂取する区民の割合								
							指標説明	生活習慣行動調査による								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	300	232	350	190	300	54.3							
	活動指標(2)	2	人	1,000	1,023	1,000	1,045	1,000	104.5							
	成果指標(1)	3	%	15.0	18.5	15.0	15.6	15.0	104.0							
	成果指標(2)	4	%	15.0	9.1	15.0	7.9	15.0	52.7							
事業費		5	千円	2,181	1,772	2,192	1,643	3,855	平成26年度 予算執行率(%)	75.0						
(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	特記事項							
(内) 委託費		7	千円	5	0	5	0	279	杉並区がん対策推進協議会で行っていたがん対策推進計画の策定や推進に関する所掌事項について、その役割を終えたため平成26年度については開催をしなかった。設置要綱は年度末をもって廃止した。							
職員数	常勤職員数	8	人	0.66	0.75	0.60	0.63	0.30								
	再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
	非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.40								
人件費	常勤職員分	11	千円	5,696	6,473	5,286	5,550	2,643								
	再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0								
	非常勤職員分	13	千円	0	0	566	566	1,132								
総事業費(5+11+12+13)		14	千円	7,877	8,245	8,044	7,759	7,630								
単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	26,257	35,539	22,983	40,837	25,433								
財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0								
	国からの補助金等		17	千円	0	0	0	197	766							
	都からの補助金等		18	千円	0	0	0	674	0							
	その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0							
	特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	871	766							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	7,877	8,245	8,044	6,888	6,864								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 348

平成26年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
		(1) 主な取組	がん一次予防に関する普及啓発講演会	190
	子宮頸がん検診を受ける世代への普及啓発リーフレットとグッズの配布	1,045	人	779
	母親学級でのたばこの影響に関するリーフレットの配布	1,000	部	294
	「毎日プラス1皿の野菜」でがん予防のポスター掲示及びチラシの配布	8,500	枚	332
	その他（がん対策推進協議会（2回） など）			28
(2) 事業実績	<p>「がん対策推進計画」に基づき、がん予防の正しい知識の普及啓発のため、がん征圧月間（9月）に合わせてがん治療経験者の講演会を実施するとともに、がん予防ポスターの掲示、チラシ配布を行いました。また、若い女性の子宮頸がん検診の受診率向上に向けて女子美術短期大学生によるデザインポスターを作成し、併せて新成人女性に向けて啓発グッズを配布しました。特に、若い世代への喫煙対策として、母親学級での胎児に与える影響などについてリーフレットを配布し啓発に努めました。</p>			

事業開始当初から現在までの変化	<p>がんは、区においても昭和51年から死亡原因の第1位となっており、平成25年の死亡者数は1317人と、全死亡者数の30%を占め、死亡者の約3人に1人という割合になっています。区は、従前からがんを含む生活習慣病予防の普及啓発やがん検診などのがん対策を実施してきましたが、平成24年度に、がん予防と死亡率の減少を目指し、総合的・体系的な対策を講じるため、平成25年度から29年度までの5年間を計画期間として、「杉並区がん対策推進計画」を策定して対策を進めてきました。</p>
事業環境の変化 事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>在宅医療推進協議会のもと、がん対策部会では、関係機関の顔に見える関係づくりを進めています。また、「区民に対して緩和ケアについての普及啓発が進んでいない」「がんになっても安心して暮らせる地域づくりのために在宅医と専門医療機関の連携推進が必要」等の課題が出されています。母親学級で、喫煙に関するDVD放映やリーフレット配布を行ったところ、禁煙について個別相談を希望する参加者が増加するなど喫煙の害について関心を持つ人が増えています。</p>
今後の予測	<p>今後迎える超高齢化社会では、2人に1人ががんにかかるといわれています。また、がん治療の進歩によりがんのステージに合わせた治療を選択できる時代になっています。そのため、多くの区民ががん検診を受けて早期に発見し、効果的な治療を選ぶ必要があります。また、がんとともに生きる人が多くなり、在宅での診療や介護をがんになったときから考える必要やがん患者の就労などの問題も多くなってきます。</p>
評価と課題	<p>これまでのがんの一次予防や早期発見のためのがん検診受診率向上に合わせて、がんになっても安心して治療や療養ができる環境づくりが必要です。特に、がん治療を選択できる時代になり、区民はがんの情報を求めています。身近ながんの相談窓口の体制強化を図るとともに、がんのステージに合わせて専門的ながん診療拠点病院や相談支援センターへ早期につなげることや、急性期の治療を終えて地域に戻ったときの在宅支援体制の連携強化を進めていきます。</p>

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>がん検診のさらなる受診率向上に向けて、未受診者への受診勧奨を継続し、追跡調査などで精密検査受診率の向上を目指します。また、がんになったときからの緩和ケアの正しい知識について区民に普及啓発していきます。さらに、がん患者や家族への支援として、相談できる身近な相談窓口の機能強化や、専門的ながん診療拠点病院や相談支援センターとの連携を進め、がん患者や家族が地域で孤立しないように医療機関や相談機関、介護事業者など関係機関の連携を強化していきます。</p>	

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00661）

事務事業名称		健康づくり推進活動			款	04	項	05	目	01	事業	027	整理番号	349
現担当課名		健康推進課			係名		管理係		連絡先電話番号		4528		昨年度整理番号	
上位施策No・施策名		12 いきいきと暮らせる健康づくり			予算事業区分		新規事業							
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 04 施策 12 計画事業											
	平成26年度担当課名	健康推進課			事業評価区分		一般							
	対象	区民、杉並区健康づくり推進協議会委員			根拠法令等	(1)		杉並区健康づくり推進条例						
						(2)								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	全ての区民が生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせる健康長寿の地域社会の実現を目指し、区民・事業者・関係団体及び区が協働して健康づくりを推進する。			活動指標	指標名（1）		生活習慣行動調査実施者数						
					指標説明		杉並区健康づくり推進協議会実施回数							
					指標名（2）		平成27年度からの指標。							
					指標説明									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民が安心して健やかに暮らせるまちの実現に向けて、その評価基準となりうる健康都市指標を作成するため「生活習慣行動調査」を実施する。健康づくりに関する施策の実施に関して必要な事項の調査審議を行うため、健康づくり推進協議会を開催する。			成果指標	指標名（1）		生活習慣行動調査回答者数							
					指標説明		庁内献血者数							
					指標名（2）		平成27年度からの指標。							
					指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）					
指標	活動指標（1）	1				0	2,500	0	0.0					
	活動指標（2）	2				0	0	2	0.0					
	成果指標（1）	3				0	1,199	0	0.0					
	成果指標（2）	4				0	0	200	0.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			4,072	3,411	7,884	平成26年度予算執行率（%）	83.8				
	（内）投資的経費等	6	千円			0	0	0	特記事項 主に生活習慣行動調査に係る委託経費に契約落差金が発生しました。					
	（内）委託費	7	千円			2,645	2,112	386						
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	0.55				1.50		
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00				0.00		
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00				0.90		
	人件費	常勤職員分	11	千円			0	4,846				13,215		
		再任用職員分	12	千円			0	0				0		
		非常勤職員分	13	千円			0	0				2,547		
	総事業費	14	千円			4,072	8,257	23,646						
	単位あたりコスト	15	円			0	3,303	0						
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0				0		
		国からの補助金等	17	千円			0	0				0		
		都からの補助金等	18	千円			0	41				0		
その他の補助金等		19	千円			0	0	0						
特定財源計		20	千円			0	41	0						
差引：一般財源		21	千円			4,072	8,216	23,646						
受益者負担比率	22	%				0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 349

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	健康づくり推進活動啓発事業			968
		健康づくり推進協議会	2	回	449
		生活習慣行動調査	2,500	人	1,994
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>平成26年に制定された「杉並区健康づくり推進条例」の周知や健康づくり推進について啓発を行いました。 また、健康づくりに関する施策の実施に関して必要な事項の調査審議を行うため、区長の附属機関である「杉並区健康づくり推進協議会」を2回開催しました。 さらに、健康づくりを推進するための調査として、区民の生活習慣・行動の状況を詳細に把握するために3年に1度実施している「生活習慣行動調査」を行いました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区では平成26年度に全ての区民が生涯にわたり健やかでいきいきと暮らせる健康長寿の地域社会を目指し、区民、事業者、関係団体及び区が協働し健康づくりを推進するために杉並区健康づくり推進条例を策定しました。これに伴い本条例に規定されている健康づくり推進協議会の開催や健康づくりに関する目標・指標を設定し公表しました。 また、区民が安心して健やかに暮らせるまちの実現に向けて、その評価基準となりうる健康都市指標を作成するため「生活習慣行動調査」を実施しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>条例制定に関しては、特定の事業について過度な目標や対策・規制とならない取り組みとすべきと考え、プライバシーに配慮しつつ関係団体と健康に関わるあらゆるデータを集め分析すると傾向や必要な対策が見えてくるのではないかと、また条例制定をきっかけに区民が健康づくりに適進できるようになると良い等のご意見がありました。</p>			
	今後の予測	<p>設定した目標などを達成するための具体的な事業を実施していく必要があります。そのために、庁内推進会議を活用し区関係部署の連携を強化するとともに、区民や関係団体との協働を今まで以上に進めます。</p>			
評価と課題	<p>区民の健康づくりを推進するために、身体、心の健康などの各分野に係る達成すべき目標及び指標を設定しました。 この目標及び指標をはじめ、区民・事業者・関係団体及び区のそれぞれの役割及び責務について周知に努め、連携体制を一層強化し協働により健康づくり事業を実施していく必要があります。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>献血事業や熱中症対策事業を包括していた各種保健事業推進活動事業と統合します。これにより区民や関係団体等に対して、健康づくり推進に関する啓発により一層努めます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00342）

事務事業名称		大気汚染被害対策			款	04	項	05	目	04	事業	001	整理番号	361		
現担当課名		保健予防課		係名	保健予防係			連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	342				
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和47年度														
	平成26年度担当課名	保健予防課			事業評価区分	一般										
	対象	大気汚染医療費助成：気管支ぜん息等にかかっている区民			根拠法令等	(1)		大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例								
						(2)		杉並区大気汚染障害者認定審査会条例								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	大気汚染医療費助成：気管支ぜん息等にかかった者に対して医療費の助成をすることにより、健康障害の救済を図る。			活動指標	指標名（1）		新規・更新申請者数								
					指標説明		区内認定者数									
					指標名（2）		区内認定者数									
					指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	気管支ぜん息等と診断された区民からの申請を受け、審査により大気汚染にかかる健康障害者と認定された方への医療費の助成を行う。			成果指標	指標名（1）		大気汚染医療費助成認定者対前年度比									
					指標説明		今年度認定者数 ÷ 前年度認定者数									
					指標名（2）		大気汚染医療費助成認定率									
					指標説明		当該年度の認定者数 ÷ 当該年度の申請者数									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	人	1,671	2,000	1,612	2,000	2,045	2,000	102.3						
	活動指標（2）	2	人	3,318	3,700	3,498	3,700	3,629	3,700	98.1						
	成果指標（1）	3	%	108.4	110.0	105.4	110.0	103.7	90.0	94.3						
	成果指標（2）	4	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,817	6,565	5,902	7,686	7,381	6,261	平成26年度 予算執行率(%)	96.0					
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7	千円	741	976	729	2,136	2,116	773							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.01	3.00	3.06	2.80	2.94	2.35						
		再任用職員数	9	人	0.50	0.00	0.00	0.00	0.20	0.10						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.38	0.33	0.58	0.38	0.45						
	人件費	常勤職員分	11	千円	17,487	25,890	26,408	24,668	25,901	20,704						
		再任用職員分	12	千円	1,965	0	0	0	810	405						
		非常勤職員分	13	千円	0	1,056	917	1,641	1,075	1,274						
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	25,269	33,511	33,227	33,995	35,167	28,644							
	単位あたりコスト (14-6) ÷ 1)	15	円	15,122	16,756	20,612	16,998	17,197	14,322							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	3,997	4,044	4,015	4,044	4,037	4,044							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	3,997	4,044	4,015	4,044	4,037	4,044							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	21,272	29,467	29,212	29,951	31,130	24,600							
受益者負担比率 (16 ÷ 14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 361

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	大気汚染に関する医療費助成	2,045	人	3,460
		アレルギー相談	162	人	3,724
		ぜん息等に関する講習会	57	人	167
	(2) 事業実績	その他（光化学スモッグ被害予防対策）			30
		<p>気管支ぜん息等の疾病にかかった18歳未満の区民に対し医療費助成を行ってきましたが、平成20年8月から気管支ぜん息及び続発症の医療費助成の対象が全年齢に拡大され、大気汚染による健康被害の区民全般の医療費軽減につながりました。27年度からの制度改革を見込んだ駆け込みの申請が増えました。また、保健センターで専門医によるアレルギー相談を実施し、疾病に対する早期の予防、悪化防止に役立っています。ぜん息等に関する講演会も託児付きで参加しやすく好評です。また、平成26年度は講習会を土曜日に一回開催し、平日の参加が難しい方に対して便宜を図りました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成15年1月の制度改革により審査方法が厳格化されたこと、少子化の影響による児童数の減少、乳幼児医療費助成や平成19年4月から始まった義務教育就学児医療費助成の対象者が、本制度の申請をしないことがあるため受給者数は減少傾向にありました。しかし、平成20年8月から18歳未満だった年齢制限が全年齢に拡大されたため受給者数は増加しました。その後、平成27年4月からの制度改革により、18歳以上の新規申請が終了することに伴い、平成26年度の新規申請が増えましたが、4月以降は数件となっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>「大気汚染医療費助成制度の存在を知る機会が少ない」、「申請書類を簡素化してほしい」、「申請にあたって必要とされる文書や検査に費用がかかる」などです。</p>			
	今後の予測	<p>平成27年4月1日に東京都大気汚染医療費助成制度が改正され、18歳以上の方の新規申請受付が終了したことにより、新規の認定者数は減少しています。</p>			
	評価と課題	<p>毎月行っている審査会の効率化が課題です。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
	今後の進め方	<p>講習会は区民のニーズに合った内容で企画・実施できることから参加希望人数も多く、特に託児付きの講習会は参加しやすいと好評のため、平成27年度も同様に対応していく方向です。 大気汚染医療費助成制度は平成27年度に改正されたことにより、受給資格を喪失した方の再申請はできなくなりました。今後も制度の周知のために広報・ホームページの有効活用を図ります。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00346)

事務事業名称		保健所等施設の維持管理				款	04	項	05	目	06	事業	001	整理番号	365	
現担当課名		健康推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	346				
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成11年度														
	平成26年度担当課名	地域保健課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	保健所および保健医療センター利用者				根拠法令等	(1)		地域保健法・同施行令・同施行規則							
							(2)		杉並区保健所設置条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	施設及び環境を安全で快適な状態にする。				活動指標	指標名(1)		建物面積(m ²)							
						指標説明		保守委託契約件数								
					指標名(2)	指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	保健所および保健医療センターの 庁舎管理 設備保守管理 備品管理を行う。				成果指標	指標名(1)										
						指標説明										
					指標名(2)	指標説明										
					指標説明	指標説明										
区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度								
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	m ²	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426	100.0						
	活動指標(2)	2	件	19	21	15	16	16	17	100.0						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	78,791	85,269	78,866	102,695	99,344	91,040	平成26年度 予算執行率(%)	96.7					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	51,480	55,423	50,484	65,201	63,964	56,124							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.74	0.70	0.76	0.70	0.76	0.70						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10						
	人件費	常勤職員分	11	千円	6,438	6,041	6,559	6,167	6,696	6,167						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	283						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	85,229	91,310	85,425	108,862	106,040	97,490							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	13,263	14,209	13,294	16,941	16,502	15,171							
	財源	受益者負担分	16	千円	505	405	587	476	597	569						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	505	405	587	476	597	569							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	84,724	90,905	84,838	108,386	105,443	96,921							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.6	0.4	0.7	0.4	0.6	0.6								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	365
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		建物総合管理委託	1	件	29,338
		光熱水費（電気・ガス・水道・電話）			24,683
		機械設備保守点検業務委託	1	件	15,336
		画像診断システムの保守委託等（保健予防課）	3	件	1,380
	その他（委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料）			28,607	
(2) 事業実績	保健所及び保健医療センターの機能を低下させないよう、維持管理を行っています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>建設後15年以上経過しているため建物及び設備の劣化等により修繕箇所が増加しています。保健所を利用する区民が安心して衛生的に施設を利用できるよう、今後も施設設備の不具合解消に努めていく必要があります。</p> <p>利用者の安全を最優先した上でより一層の節電対策に取り組んでいきます。</p> <p>デジタルエックス線検査システムを導入し、胸部エックス線検査を保健所1か所に集約しました。</p> <p>また、X線直接撮影装置についても耐用年数が過ぎているため、機器の入替を検討する必要があります。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
今後の進め方					

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00347)

事務事業名称		荻窪保健センターの維持管理			款	04	項	05	目	06	事業	002	整理番号	366	
現担当課名		保健サービス課		係名	管理係			連絡先電話番号	4526		昨年度整理番号	347			
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度													
	平成26年度担当課名	保健サービス課			事業評価区分	施設維持管理									
	対象	施設の維持管理：健康相談・健診等の利用者、自主グループ			根拠法令等	(1)		地域保健法・同施行令・同施行規則							
						(2)		杉並区立保健センター条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	設備、機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診・自主グループ活動等で来所した区民に快適な施設環境と、的確な相談や正確な健診等を提供する。			活動指標	指標名(1)		建物面積(m ²)							
					指標説明		保守委託契約件数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	設備機器、医療機器等各種備品の管理、保守点検等を定期的に実施し、必要に心じ修繕等を行う。			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分	単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	0	100.0					
	活動指標(2)	2	件	5	4	4	5	5	0	100.0					
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,268	5,669	5,369	5,730	5,447	0	平成26年度 予算執行率(%)	95.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	604	694	562	733	583	0	各保健センターの維持管理(5事務事業)について、平成27年度から1事務事業に統合したため、平成27年度計画欄は入力していません。					
	職員数	常勤職員数	8	人	2.25	2.79	2.91	2.80	3.30	0.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	2.00	2.30	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.80	1.09	1.09	0.80	0.80	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	19,575	24,078	25,113	24,668	29,073	0					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	8,100	9,315	0					
		非常勤職員分	13	千円	2,200	3,030	3,030	2,264	2,264	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	27,043	32,777	33,512	40,762	46,099	0						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	19,958	24,190	24,732	30,083	34,021	0						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	830	812	826	751	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	830	812	826	751	0						
差引：一般財源(14-20)		21	千円	27,043	31,947	32,700	39,936	45,348	0						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	2.5	2.4	2.0	1.6	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 366

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	パート報酬（健診受付、検体収集）			3,925
		白衣等洗濯、医療関係廃棄物回収処理業務委託			297
		乳幼児身長体重計の賃借			239
		心電計保守点検委託			173
		その他（栄養士謝礼、機器修理費、郵券・消耗品購入費ほか）			813
(2) 事業実績	各種健康診査や健康相談等を実施するため、医療機器類等の管理及び保守点検等を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	各種健診で用いる機器等について、定期的に保守点検を行うなどして、事業に支障をきたさないよう維持することができました。今後は、医療機器等の老朽化が一層顕著になることから、引き続き適切に維持管理するため、医療機器等の計画的な更新・修理が必要になります。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00348)

事務事業名称		高井戸保健センターの維持管理				款	04	項	05	目	06	事業	003	整理番号	367	
現担当課名		保健サービス課		係名		高井戸業務係		連絡先電話番号		4506		昨年度整理番号		348		
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和42年度														
	平成26年度担当課名	保健サービス課				事業評価区分		施設維持管理								
	対象	施設の維持管理：健康相談や各種健診等利用者、自主グループ			根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備する。			活動指標		指標名(1) 建物面積(m ²) 指標説明 指標名(2) 保守契約委託件数									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	庁舎、設備機器、医療機器等各種備品の管理を行うとともに、保守点検及び修繕を行う。			成果指標		指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	100.0							
	活動指標(2)	2	件	15	15	15	15	15	100.0							
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	16,078	17,217	16,569	17,872	17,281	0	平成26年度 予算執行率(%)	96.7					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	7,249	7,487	7,247	7,575	7,506	0							
	職員数	常勤職員数	8	人	1.86	1.89	1.90	1.90	2.60	2.70						
		再任用職員数	9	人	0.03	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,182	16,311	16,397	16,739	22,906	23,787						
		再任用職員分	12	千円	118	0	772	810	810	810						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	283	283	566						
	総事業費	14	千円	32,378	33,528	33,738	35,704	41,280	25,163							
	単位あたりコスト	15	円	23,860	24,707	24,862	26,311	30,420	18,543							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源		21	千円	32,378	33,528	33,738	35,704	41,280	25,163							
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 367

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	15	件	6,425
		光熱水費			3,405
		修繕費	8	件	836
		その他(賃借ほか)			6,615
(2) 事業実績	空調室内機オーバーホール、消防用機器取扱修理などを行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>安全で快適に利用していただけるよう施設の維持管理に取り組んでいますが、利用者のニーズに即したエレベーターの設置など大規模な修繕も、今後の課題です。 建物が、老朽化しているため修繕の緊急対応度により優先順位をつけ、可能なところから施設保全に取り組んでいきます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00349）

事務事業名称		高円寺保健センターの維持管理				款	04	項	05	目	06	事業	004	整理番号	368	
現担当課名		保健サービス課		係名		高円寺業務係		連絡先電話番号		4512		昨年度整理番号		349		
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度														
	平成26年度担当課名	保健サービス課								事業評価区分		施設維持管理				
	対象	施設の維持管理：健康相談・健診等利用者、自主グループ		根拠法令等		(1)		地域保健法・同施行令・同施行規則								
						(2)		杉並区保健所設置条例								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	庁舎・機器の保全・保守に努め、相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備する。		活動指標		指標名（1）		建物面積（㎡）								
			指標説明		指標名（2）		保守委託契約件数									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	庁舎・設備機器等の維持管理、保守点検等を定期的にいき、必要に応じて修繕を行う。		指標説明		成果指標		指標名（1）									
			指標説明		指標名（2）		指標説明									
			指標説明		指標名（2）		指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	㎡	1,765	1,765	1,765	1,765	1,765	100.0							
	活動指標（2）	2	件	14	14	14	14	14	100.0							
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	13,390	16,635	14,464	15,982	14,924	0	平成26年度予算執行率（%）		93.4				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	6,132	7,280	6,911	7,418	7,087	0	平成27年度における活動指標（1）及び（2）の数値は、高円寺保健センター分室の所属替えによる建物面積及び契約件数の減によるものです。						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.60	1.60	3.40	3.44	3.76	3.15						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.30						
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,920	13,808	29,342	30,306	33,126	27,752	事業費等は、平成27年度から「保健センターの維持管理」として保健サービス課に予算が統合されたため、金額の表示がありません。					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	4,050	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	2,780	2,780	2,830	0	849						
	総事業費	14	千円	27,310	33,223	46,586	53,168	48,050	28,601							
	単位あたりコスト	15	円	15,473	18,823	26,394	30,124	27,224	19,338							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源		21	千円	27,310	33,223	46,586	53,168	48,050	28,601							
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	368
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		清掃業務請負委託	1	件	3,971
		機械設備保守委託	1	件	699
		光熱水費			1,289
		修繕費	3	件	59
	その他(各種保守業務委託、賃借ほか)				8,906
(2) 事業実績	高円寺保健センターが管理している分室については、平成27年度に管理を高齢者施策課へ引き継ぐこととなりました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
評価と課題	機器や建物の不具合による修繕が増えつつあります。また、光熱水費については、子どもセンターの開設に伴う増加要素がありますが、引き続き節電や省エネの観点から有効な対策を実施していくものとしてます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00350）

事務事業名称		上井草保健センターの維持管理			款	04	項	05	目	06	事業	005	整理番号	369		
現担当課名		保健サービス課		係名	上井草業務係			連絡先電話番号	4504		昨年度整理番号	350				
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和60年度														
	平成26年度担当課名	保健サービス課			事業評価区分	施設維持管理										
	対象	施設の維持管理：健康相談・健診等利用者、自主グループ			根拠法令等	(1)		地域保健法・同施行令・同施行規則								
						(2)		杉並区保健所設置条例								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	健康相談や各種健診等で来所した区民に、快適な環境を提供する。庁舎・機器の保全・保守に努め、非常時の安全確保を図る。			活動指標	指標名（1）		建物面積（㎡）								
				指標説明	指標名（2）		保守契約委託件数									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	庁舎・設備機器の維持管理、医療機器等各種備品を管理するため保守点検及び修繕等を行う。			指標説明	成果指標											
					指標名（1）											
					指標名（2）											
					指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	㎡	815.4	815.4	815.4	815.4	815.4	815.4	100.0						
	活動指標（2）	2	件	11	11	11	11	11	11	100.0						
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	10,019	11,130	10,325	11,210	10,055	0	平成26年度予算執行率（%）	89.7					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	4,244	4,676	4,318	4,998	4,596	0	26年度は、修繕費等の残により、執行率が89.7%となりました。27年度からは、各保健センターの維持管理の事務事業を一本化します。						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.84	1.00	1.10	1.00	1.65	1.55						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.60	0.60	0.60	1.00	1.50						
	人件費	常勤職員分	11	千円	7,308	8,630	9,493	8,810	14,537	13,656						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	1,668	1,668	1,698	2,830	4,245						
	総事業費（5+11+12+13）	14	千円	17,327	21,428	21,486	21,718	27,422	17,901							
	単位あたりコスト（(14-6)÷1）	15	円	21,250	26,279	26,350	26,635	33,630	21,954							
	財源	受益者負担分	16	千円	378	451	348	404	348	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計（16+17+18+19）		20	千円	378	451	348	404	348	0							
差引：一般財源（14-20）		21	千円	16,949	20,977	21,138	21,314	27,074	17,901							
受益者負担比率（16÷14）	22	%	2.2	2.1	1.6	1.9	1.3	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 369

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		清掃業務委託	1	件	2,896
		機械設備保守委託	1	件	477
		光熱水費			1,653
		修繕費	7	件	621
	その他(各種保守業務委託、賃借ほか)			4,408	
(2) 事業実績	トイレの修繕や建具の調整を行い、安全な職場環境を整えました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>日常点検をこまめに行い、適正な維持管理を図ります。また、建物の老朽化により、修繕箇所が増加が見込まれますが、安全確保に努めます。</p> <p>「杉並区健康づくり推進条例」を踏まえ、区民の健康寿命延伸に向けた健康づくりに積極的に取り組みます。と同時に、「区の対人保健サービスの拠点」として、さまざまな健康課題を解決できるように環境を整えていきます。</p> <p>また、新たに開設した子どもセンターとの事業協力も進めます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00351)

事務事業名称 和泉保健センターの維持管理			款 04	項 05	目 06	事業 006	整理番号 370				
現担当課名 保健サービス課		係名 和泉業務係		連絡先電話番号 4508		昨年度整理番号 351					
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和56年度									
	平成26年度担当課名	保健サービス課		事業評価区分		施設維持管理					
	対象	施設の維持管理：健康相談・健診等の利用者、自主グループ		根拠法令等 (1) (2)	地域保健法・同施行令・同施行規則 杉並区保健所設置条例						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	庁舎・機器の保全・保守に努める。 健診・相談等で来所した区民にとって快適で安全な環境を整備する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	建物面積(m ²) 保守委託契約件数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	庁舎・設備機器の維持管理、保守点検等を定期的に行い、必要に応じて修繕を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明							
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	m ²	620	620	620	620	620	100.0		
	活動指標(2)	2	件	9	9	9	9	9	100.0		
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	10,428	11,913	11,458	11,420	10,718	0	平成26年度 予算執行率(%) 93.9 特記事項 事業費等は、平成27年度から「保健センターの維持管理」として保健サービス課に予算が統合されたため、金額の表示がありません。	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	447	447	0	0	0		
	(内) 委託費	7	千円	4,561	4,746	4,581	4,685	4,337	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00		1.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	7,830	8,630	8,630	8,810	8,810		8,810
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	18,258	20,543	20,088	20,230	19,528	8,810		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	29,448	32,413	31,679	32,629	31,497	14,210		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源(14-20)		21	千円	18,258	20,543	20,088	20,230	19,528	8,810		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 370

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	9	件	3,830
		光熱水費			1,823
		修繕費	6	件	209
		その他（通信運搬費、賃借ほか）			4,856
(2) 事業実績	検査室や廊下の室内機部品交換等を行い、お客様が快適に施設を利用できるよう努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	前年度に引き続き、修理が必要な箇所は迅速に対応しています。機器設備等の老朽化が進んでいるため、これからも日々点検を実施し、メンテナンスを行っていきます。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00352)

事務事業名称		衛生試験所施設の維持管理				款	04	項	05	目	06	事業	008	整理番号	371	
現担当課名		生活衛生課		係名		衛生試験所		連絡先電話番号		4514		昨年度整理番号		352		
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		昭和56年度													
	平成26年度担当課名		生活衛生課						事業評価区分		施設維持管理					
	対象		衛生試験所庁舎、設備、機器		根拠法令等		(1)		地域保健法							
							(2)		食品衛生法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		衛生試験所庁舎、設備、機器を適正に保守管理し、正しい検査結果を出せる環境を整備する。		活動指標		指標名(1)		延べ床面積(m ²)							
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		衛生試験所庁舎、設備、機器が良好な状態を保つように保守点検、修繕を行う。		成果指標		指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	m ²	1,592	1,592	1,592	1,592	1,592	100.0							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	15,424	17,563	16,015	17,393	16,396	17,911	平成26年度予算執行率(%)	94.3					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	10,554	10,491	9,960	10,405	9,909	10,714							
	職員数	常勤職員数	8	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	0.50						
		再任用職員数	9	人	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00						
		非常勤職員数	10	人	1.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,050	12,945	12,945	13,215	13,215	4,405						
		再任用職員分	12	千円	0	3,860	3,860	0	0	4,050						
		非常勤職員分	13	千円	2,750	0	0	2,830	2,830	2,830						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	31,224	34,368	32,820	33,438	32,441	29,196							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	19,613	21,588	20,616	21,004	20,378	18,339							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	31,224	34,368	32,820	33,438	32,441	29,196							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 371

平成26年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	施設等保守管理委託			7,152
	光熱水費			3,405
	維持管理経費			5,170
	施設修繕費	9	件	669
	その他（ ）			
(2) 事業実績	衛生試験所の庁舎、設備、機器が良好な状態を保つよう保守点検、修理を行いました。排水の水質検査等を当所で行い経費が節減されました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	緊急工事が必要な設備は現在なく、ほぼ良好な状態ですが、施設全体として経年劣化による点検・修理を随時行っていきます。排ガス処理施設や污水处理施設は、劣化が進んでいるため、これからの実情に合わせて更新を検討する必要があります。昇降機設備の改修工事をしました。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00588)

事務事業名称 特定健康診査・特定保健指導事業				款 08	項 02	目 01	事業 001	整理番号 613		
現担当課名 国保年金課		係名 保健事業担当係		連絡先電話番号 1276		昨年度整理番号 588				
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり							予算事業区分 既定事業			
事業開始 平成20年度		実行計画事業 目標 04 施策 12 計画事業 02								
平成26年度担当課名 国保年金課							事業評価区分 一般			
対象		杉並区国民健康保険の加入者で、平成26年度末年齢が40歳～74歳の方(26年度中に75歳になる75歳未満の方も含む。)		根拠法令等 (1) (2)		高齢者の医療の確保に関する法律第20、24条 国民健康保険法第82条				
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		特定健康診査受診件数 特定保健指導利用件数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明							
	対象者に対して、特定健康診査を実施する。特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となつた方に指導を実施する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		特定健康診査実施率 特定健康診査受診件数÷特定健康診査受診券発送件数 内臓脂肪症候群の該当者・予備群の割合 内臓脂肪症候群の該当者・予備群÷特定健康診査受診件数					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画(目標値) 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	45,168	53,919	44,895	56,760	50,948	56,760	89.8	
	活動指標(2)	2 件	1,712	3,983	791	2,186	1,159	2,369	53.0	
	成果指標(1)	3 %	45.0	52.0	46.4	54.0	53.6	54.0	99.3	
	成果指標(2)	4 %	0.0	22.0	20.3	21.0	20.6	20.0	98.1	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	591,022	641,192	587,468	696,021	672,078	772,389	平成26年度 予算執行率(%) 96.6	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	568,446	618,201	564,402	673,296	655,239	750,290		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.13	2.00	2.15	2.00	2.10	2.10	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	18,531	17,260	18,555	17,620	18,501	18,501	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	4,050	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	2,830	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	609,553	658,452	606,023	713,641	690,579	797,770		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	13,495	12,212	13,499	12,573	13,555	14,055		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	115,564	99,717	99,717	100,372	100,372	112,528	
		都からの補助金等	18 千円	187,531	99,717	195,531	100,372	156,611	112,528	
その他の補助金等		19 千円	293,506	359,301	294,795	412,525	414,856	460,186		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	596,601	558,735	590,043	613,269	671,839	685,242		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	12,952	99,717	15,980	100,372	18,740	112,528		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 613			
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		特定健康診査受診件数	50,948	件	630,774
		特定保健指導利用件数	1,159	件	10,716
		特定健診・特定保健指導負担金			13,308
		健診データ管理事務費ほか			17,280
		その他()			
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>特定健康診査の受診券を100,694件、特定保健指導の利用券を5,087件送付しました。前年度の特定健康診査未受診者に対して4月から9月生まれの方11,204件、10月から3月生まれの方11,628件、計22,832件の受診勧奨ハガキを送付しました。特定保健指導対象者に利用勧奨のため、電話勧奨を2,523件、文書での勧奨を353件実施しました。健診結果から、糖尿病が強く疑われる者に」対して医療機関の受診勧奨をする「医療機関受診勧奨モデル事業」を137名に実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>特定健康診査は平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、従前の「老人保健法」により健康推進課で実施していた、区民健診（誕生月健診）に替わって開始された事業です。そのため、従前の実施方法が対象者に根強く残っており、今だに実施時期の変更が対象者に浸透していません。しかし受診率は、開始当初より23区中でも上位で推移しており健診受診に対する区民の意識の高さがうかがえます。健診結果により生活習慣病発症のリスクが高いと判定された方に、特定保健指導の通知をしていますが、利用申し込み者数は伸び悩んでいる状態です。特定保健指導が開始して5年以上経過しており、連続して対象者となっている方が増えているのも一因となっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特定健康診査について、通年受診、また国民健康保険資格取得後の直近で受診をさせて欲しいとの要望があります。特定保健指導については、指導事業者の選び方が分かりづらい、なぜこのような通知が届くのかとの問い合わせがあります。</p>			
	今後の予測	<p>国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針の一部改正により、今年度はレセプトと健診結果データを分析し、健康づくりや疾病予防、生活習慣病の重症化予防などを効果的に行う保健事業を実施する「データヘルス計画」を策定することとなりました。分析結果を基に特に糖尿病に重点をおいた生活習慣病予防対策を推進し、区民の健康増進や医療費の適正化を図っていく必要があります。</p>			
評価と課題		<p>特定健康診査の受診率は、制度開始当初から特別区中でも上位を保っています。40歳から50歳代の受診率が依然として低く、受診勧奨ハガキを送付し促していますが、送付者のうち受診に結びつく方は依然と少ないため、今後受診勧奨ハガキの対象者の見直しを検討していく必要があります。一方、特定保健指導は実施率が低迷しています。利用率に結び付けるために、健康状態に応じた生活習慣病に関する情報を丁寧に発信する必要があります。また、実施方法の見直しや実施機関を増やすことを検討していく必要があります。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>平成27年度は「データヘルス計画」を策定し、第2期特定健康診査実施計画とも整合性を図りながら、糖尿病に重点をおいた生活習慣病予防対策を推進し、区民の健康増進や医療費適正化を目指します。また、特定健康診査の受診率向上について、効果的な勧奨方法を検討します。特定保健指導は平成27年度から実施方法や実施できる医療機関を拡大し、実施率向上を目指します。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00607)

事務事業名称		二次予防対象者に対する介護予防サービス					款	04	項	01	目	01	事業	001	整理番号	633
現担当課名		高齢者施策課			係名	総合事業整備係			連絡先電話番号	1177		昨年度整理番号	607			
上位施策No・施策名										12 いきいきと暮らせる健康づくり		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成18年度	実行計画事業 目標 04 施策 12 計画事業 06													
	平成26年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般			
	対象	65歳以上で介護予防基本チェックリストの結果、介護や支援が必要となるおそれがあると認められた高齢者				根拠法令等	(1)		介護保険法							
							(2)		地域支援事業実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	生活機能に低下が見られる高齢者が介護予防事業を利用することで、要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送ることができる。				活動指標	指標名(1)		二次予防事業対象者数							
						指標名(2)		介護予防事業参加人数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	介護予防基本チェックリストの実施により把握された二次予防事業対象者に対し、介護予防事業(健康らく楽トレーニング・筋力アップトレーニング・みんなの水中トレーニング・脳から始まる健康教室・元気まるごと教室・ここからだ元気教室・口腔機能向上教室・膝あんしん教室・腰あんしん教室)を実施する。				成果指標	指標名(1)		二次予防事業対象者のうち介護予防事業に参加した割合								
						指標名(2)		介護予防事業利用後の維持改善者の割合								
					指標説明	(介護予防事業参加者数 - 悪化・死亡数) ÷ 介護予防事業参加者数										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	13,278	9,896	14,662	10,087	11,022	307	109.3						
	活動指標(2)	2	人	697	1,089	896	1,210	713	307	58.9						
	成果指標(1)	3	%	5.2	11.0	6.1	11.0	6.5	100.0	59.1						
	成果指標(2)	4	%	89.7	85.0	89.1	85.0	89.3	95.0	105.1						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	205,363	116,175	91,713	117,164	95,339	66,174	平成26年度予算執行率(%)	81.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	192,944	101,716	79,248	100,613	82,448	61,121	予算執行残は、委託事業の設計差金残等によるものです。						
	職員数	常勤職員数	8	人	7.65	6.90	7.60	7.00	7.42	8.30	介護保険制度の改正により二次予防対象者の把握方法を変更し、郵送回答による把握からケア24の総合相談支援業務から対象者を把握することとしました。					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.50	0.50	0.65	0.65	0.00	平成27年度は、平成28年度から実施する、短期集中予防サービスを試行的に実施するため、活動指標の(1)は、(2)の事業参加者数と対象者とします					
		非常勤職員数	10	人	3.50	2.00	2.00	2.00	2.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	66,555	59,547	65,588	61,670	65,370	73,123						
		再任用職員分	12	千円	0	1,930	1,930	2,633	2,633	0						
		非常勤職員分	13	千円	9,625	5,560	5,560	5,660	5,660	2,830						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	281,543	183,212	164,791	187,127	169,002	142,127							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	21,204	18,514	11,239	18,551	15,333	462,954							
	財源	受益者負担分	16	千円	1,765	3,030	2,316	3,094	2,221	2,800						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,765	3,030	2,316	3,094	2,221	2,800							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	279,778	180,182	162,475	184,033	166,781	139,327							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.6	1.7	1.4	1.7	1.3	2.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	633	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		二次予防事業対象者把握事業	11,022	人	31,179	
		こころとからだ元気教室	7	回	1,133	
		筋力アップ応援教室	11	回	13,788	
		健康らく楽トレーニング	34	回	19,561	
		その他（口腔機能向上教室、膝痛・腰痛予防教室、訪問指導）	29,678			
(2) 事業実績	65歳以上の方で、介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない方に、5月・6月・8月の3回に分けて介護予防基本チェックリストの郵送回答により、介護予防事業対象者の把握を実施しました。また、判定の結果で二次予防事業対象者とされた方の名簿を作成し、地域包括支援センター（ケア24）から事業の参加を勧奨しました。					
事業開始当初から現在までの変化	平成18年度創設された地域支援事業において、高齢者が要介護状態に陥ることなく生活できるよう、介護予防事業の充実を図っています。平成23年度から、二次予防事業対象者の把握方法が簡便な方法に変更されています。また、平成23年度から「こころとからだ元気教室」を複合プログラムに改め、平成24年度から膝痛・腰痛プログラムを開始しています。					
事業環境の変化	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
今後の予測	二次予防対象者を把握するために送付した基本チェックリストについて、毎年の健康管理の目安になる、毎年は必要ない、必要がなく無駄との声がありました。教室利用者のアンケートでは、満足度は高くなっています。					
評価と課題	介護保険の制度改正により今までの二次予防事業対象者は、一次予防・二次予防と区分けすることなく実施する一般介護予防事業の対象者として介護予防に取り組むこととなります。					
今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小				
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し				
今後の進め方	平成27年度から介護保険制度の改正により、要支援認定者の給付メニューであった訪問介護と通所介護の二つのサービスが地域支援事業に組み込まれました。今まで行ってきた二次予防事業は大幅に見直し、平成28年度から本格実施する、介護予防・日常生活支援サービス事業の通所型サービス及び訪問型サービスの短期集中予防プログラムとして、新たに実施していきます。					

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00608)

事務事業名称 一次予防対象者施策				款 04	項 01	目 02	事業 001	整理番号 634		
現担当課名 高齢者施策課		係名 介護予防事業係		連絡先電話番号 1177		昨年度整理番号 608				
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり							予算事業区分 既定事業			
事業開始 平成18年度		実行計画事業 目標 04 施策 12 計画事業 06			主要事業(区政経営報告書掲載事業)					
平成26年度担当課名 高齢者施策課					事業評価区分 一般					
事務事業の概要	対象 65歳以上の高齢者		根拠法令等 (1) 介護保険法 (2) 地域支援事業実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 地域において自主的な介護予防活動が広く実施され、高齢者が積極的にこれらの活動に参加し、地域の中で元気で暮らし続けることができるようになる。		活動指標 指標名(1) 参加者延べ数 指標説明 指標名(2) ボランティア登録者数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するために、講演会や介護予防事業(認知症予防教室、足腰げんき教室等)を実施する。地域の自主グループ活動の支援や介護予防活動の担い手としてボランティアの育成を行う。地域の課題や介護予防に取り組む地域づくりを通して、地域の社会資源も活用し、住民が主体となった介護予防活動を推進する。		成果指標 指標名(1) 一次予防事業への参加率 指標説明 指標名(2) 参加者延べ人数 - 65歳以上高齢者数 指標説明							
区分		単位	平成24年度実績	平成25年度計画	平成25年度実績	平成26年度計画(目標値)	平成26年度実績	平成27年度計画	平成26年度対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	20,050	23,268	25,861	26,380	27,638	29,834	104.8	
	活動指標(2)	2 人	111	140	122	140	136	140	97.1	
	成果指標(1)	3 %	18.5	21.2	23.2	24.0	24.2	26.0	100.8	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	57,657	84,144	75,037	103,374	90,960	187,373	平成26年度予算執行率(%) 88.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 予算執行残は、委託事業の設計差金残等によるものです。	
	(内)委託費	7 千円	42,055	52,767	51,621	73,956	69,797	169,523		
	職員数	常勤職員数	8 人	6.59	5.55	5.63	5.64	5.85		3.23
		再任用職員数	9 人	0.00	0.35	0.35	0.35	0.35		2.40
		非常勤職員数	10 人	0.55	1.40	1.80	1.80	1.80		2.10
	人件費	常勤職員分	11 千円	57,333	47,897	48,587	49,688	51,539		28,456
		再任用職員分	12 千円	0	1,351	1,351	1,418	1,418		9,720
		非常勤職員分	13 千円	1,513	3,892	5,004	5,094	5,094		5,943
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	116,503	137,284	129,979	159,574	149,011	231,492		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	5,811	5,900	5,026	6,049	5,392	7,759		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	116,503	137,284	129,979	159,574	149,011	231,492		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	634
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		介護予防教室の開催	561	教室	14,156
		地域介護予防活動支援事業（地域ささえ愛グループ活動支援）	1,974	回	16,749
		認知症予防普及啓発事業（講演会）	4	回	9,670
		地域活動育成ネットワーク事業	3	所	18,000
		その他（ものわずれ相談、認知症サポーターほか）			32,385
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>高齢者の健康づくりや介護予防、認知症予防を広く区民に周知する健康講座や実践活動を取り入れた教室を開催し、普及啓発を行いました。さらに、自主的に介護予防を目的に活動しているグループに対する支援や、区民ボランティアの育成を行い、高齢者の生きがいと社会参加の促進に取り組みました。地域活動育成ネットワーク事業では、地域の課題や介護予防に取り組む地域づくりを通して、高齢者の社会参加や交流の機会を増やし、地域の社会資源も活用した住民主体の介護予防活動の支援を行いました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年度、出前講座を中心に介護予防普及啓発を行ってきました。平成19年度から認知症予防事業、平成22年度から口腔プログラムの教室を開始しました。また、平成23年度から栄養改善の教室を二次予防事業から一次予防事業に移行しました。平成24年度から「栄養」「口腔」の教室、平成25年度から「運動」「認知症予防」の教室、平成26年度から「わがまち一番体操」が保健サービス課へ移管しています。</p> <p>平成26年度には、地域活動育成ネットワーク事業に取り組み、地域包括支援センター（ケア24）による地域の課題から社会参加活動を通じて介護予防に取り組む地域づくりを支援しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ほとんどの教室が定員を超える申込みがあり、事業に対する期待が大きいのと思われます。また、「公園から歩く会」や「わがまち一番体操」は、申込不要で気軽に参加できる点で高齢者の支持を得ています。</p>			
	今後の予測	<p>高齢者人口が今後しばらくは増加すること、介護保険の制度改正により要支援状態像の方への多様な支援方法が求められたことにより、今まで以上に区民や民間事業者による介護予防の取り組みが推進されることが予測されます。</p>			
評価と課題		<p>事業開始当初から、介護予防の普及啓発を様々な方法で実施してきたため、高齢者に介護予防の意識が徐々に定着し、地域で生きがいづくりを主とした介護予防活動が展開されています。また、地域包括支援センター（ケア24）における、地域課題や介護予防に取り組む地域づくりを通して、単身高齢者世帯、認知症高齢者の増加に伴う多様な生活支援、介護予防活動への参加ニーズがあることが分かりました。今後は、地域での多様な生活支援の基盤整備を進めるとともに、地域のリハビリ専門職と連携を図り、多くの高齢者が社会参加ができる機会を支援することにより、介護予防に繋がる地域づくりに取り組めます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>平成27年度から、今までの一次予防事業と二次予防事業を統合した一般介護予防事業を実施します。高齢期の健康づくりから継続した支援をするとともに、区民が主体となった地域での介護予防の取り組みを広げていきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00624)

事務事業名称 後期高齢者健康診査			款 04	項 01	目 01	事業 001	整理番号 650				
現担当課名 国保年金課		係名 高齢者医療係		連絡先電話番号 1283		昨年度整理番号 624					
上位施策No・施策名 12 いきいきと暮らせる健康づくり						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成20年度		実行計画事業 目標 04 施策 12		計画事業 02							
平成26年度担当課名 国保年金課						事業評価区分 一般					
対象 後期高齢者医療被保険者		根拠法令等 (1) 高齢者の医療の確保に関する法律									
		(2) 東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例									
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者の健康診査を行うことにより、高齢者の健康の増進と疾病の予防に役立て、あわせて医療費の適正化に資することを目的とする。		活動指標 指標名(1)		健康診査受診者数						
			指標説明		健康診査受診対象者数(各年度4月1日現在の被保険者数-健診除外者)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 東京都後期高齢者医療広域連合から健診事業を受託し、健診実績により受託収入の支払を受ける。杉並保健所健康推進課に予算令達を行い、健診事業を実施している。被保険者の受診費用は無料である。		成果指標 指標名(1)		受診率						
		指標説明		受診者数÷対象者数							
		指標名(2)		指標説明							
		指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	29,157	36,010	29,449	38,220	32,327	38,602	84.6		
	活動指標(2)	2 人	52,929	59,400	53,666	58,800	54,158	59,388	92.1		
	成果指標(1)	3 %	55.0	61.0	54.9	65.0	59.7	65.0	91.8		
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	288,895	456,375	386,629	485,171	448,615	488,504	平成26年度 予算執行率(%)	92.5	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	288,895	456,375	386,629	484,921	448,412	488,257			
	職員数	常勤職員数	8 人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.40		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	4,350	4,315	4,315	4,405	4,405	3,524		
		再任用職員分	12 千円	0	0	1,930	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	293,245	460,690	392,874	489,576	453,020	492,028			
	単位あたりコスト (14÷6)÷1	15 円	10,057	12,793	13,341	12,809	14,014	12,746			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	107,589	228,185	174,044	225,880	196,872	235,086			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	107,589	228,185	174,044	225,880	196,872	235,086			
差引:一般財源 (14-20)	21 千円	185,656	232,505	218,830	263,696	256,148	256,942				
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	650	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		杉並区医師会等への健診委託		1	件	407,434
		事務処理委託		1	件	34,249
		健康診査システム端末消耗品・保守委託・賃借		1	台	278
	その他（郵送料）					6,654
(2) 事業実績	<p>医師会等への健診業務の委託経費のほか、受診券の封入封緘委託・健診データ処理委託等の事務処理委託経費、受診券発送の役務費を、健康推進課に予算を令達し、事務を執行した。26年度の受診率は、59.7%と、25年度比4.8%もの伸びとなった。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>後期高齢者医療の被保険者の健診は、法では広域連合の努力義務となっています。区は広域連合と委託契約を結んでいますが、事業実施は区で行っているため、区独自の健診項目を加え、充実した健診内容とすることが可能となっています。また、被保険者から費用を徴収することなく無料で実施しています。平成22年度までは過去3年間未受診の方には送付していなかった受診券を、平成23年度からは対象者全員に送付しています。また、平成20年度に、誕生月健診から、誕生月が年度の前半と後半の方に分けて、受診券の発送と受診期間の設定を行っています。平成26年度から、区独自の健診システムを導入したことにより、受診者数や受診状況をより早く把握できるようになりました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>「毎年受診し、健康状態を知ることが安心につながっている」という意見があります。</p>				
	今後の予測	<p>区独自の健診システムを導入したことで、健診結果データを区自ら保有することができるようになり、今後、区が保健事業の検討をするうえでの環境が充実しました。今後も、後期高齢者の健康の維持・増進に寄与すると思われま。</p>				
評価と課題	<p>受診券を、平成23年度からは該当者全員に送付していることや、平成26年度からは年度途中資格取得者にも送付しています。平成26年度からは、前半後半ともに、受診期間を長く設定しました。これらの効果もあり、受診率が昨年度比5%近く向上しました。今後も、より多くの高齢者が、自身の健康への関心を高め、健康の保持増進につながるよう、受診に結びつく仕組み作りやPRを引き続き検討する必要があります。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>高齢化の進展により対象者が増加することや受診率の向上への取り組みを進めることで、受診者数が増加し、コストは増加します。</p>					